

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ココマ本体の施工は「ココマ - ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編 - 取付説明書 (E231)」、「ココマ - オープンテラスタイプ、オープンテラス腰壁タイプ編 - 取付説明書 (E233)」で施工してください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本製品は一般住宅の地上階設置用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- 基礎石は現場で手配してください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 施工手順は、下記の「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

取付説明書区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
ウッドデッキの施工	ココマ - デッキ編 (ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト) -	E220
本体、レールの施工	ココマ - ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編 - ココマ - オープンテラスタイプ、オープンテラス腰壁タイプ編 -	E231 E233
内面デッキの施工	ココマ - デッキ編 (ウェスタン・レッドシダー、イペセレクト) -	E220

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ケガをしないように必ず軍手、安全靴などを着用してください。
- 部材の切断時に切り粉を吸い込まないように注意してください。
- 防腐処理剤の塗装時には、必ず換気をしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 取付説明書の順序通りに組みつけてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 木材の腐食や変形の原因になりますので、木材表面に故意にキズをつけないように注意してください。
- モルタル・鉄粉は木材の変色の原因になりますので、付着した場合は速やかに取り除いてください。
- 床板の固定には、インパクトドライバーをご使用ください。手回し、またはトルクが小さい電動工具の場合は、ネジが十分入らない場合があります。
- イペセレクトの場合、床板の固定には必ず床板にφ6の下孔を開けてください。ネジが十分入らないことがあります。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 木材の腐食の原因になりますので、木材断面に木材保護塗料を塗布してください。

■ 梱包明細表

【1】WD束柱受金具セット

名 称	略 図	員 数
束柱受け金具		6
【1-1】φ4.1×32丸木ネジ		54

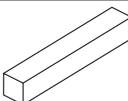
【2】WD根太受け金具セット

名 称	略 図	員 数
根太受け金具		6
【2-1】φ4.1×32丸木ネジ		30

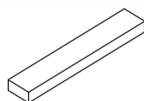
【3】WD大引受け金具

名 称	略 図	員 数
大引受け金具		6
【3-1】φ4.1×32丸木ネジ		78
【3-2】S6フィッシャープラグ		30

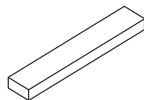
【4】WD束柱セット

名 称	略 図	員 数
束柱		5

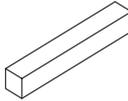
【5】WD根太セット3

名 称	略 図	員 数
根太3		2

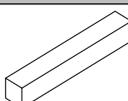
【6】WD根太セット4

名 称	略 図	員 数
根太4		4

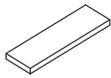
【7】WD大引セット5

名 称	略 図	員 数
大引5		1

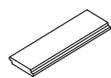
【8】WD大引セット6

名 称	略 図	員 数
大引6		1

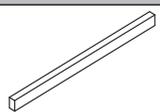
【9】デッキセット

名 称	略 図	員 数	
		ウェスタン・レッドパイン	イペセレクト
デッキ		3	2

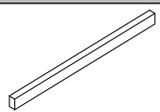
【10】内面デッキセット

名 称	略 図	員 数	
		ウェスタン・レッドパイン	イペセレクト
内面デッキ		3	2

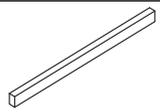
【11】EX面デッキ根太セット1

名 称	略 図	員 数
EX面デッキ根太1		3

【12】EX面デッキ根太セット3

名 称	略 図	員 数
EX面デッキ根太3		3

【13】EX面デッキ根太セット4

名 称	略 図	員 数
EX面デッキ根太セット4		1

【14】ステンレススクリュー釘 1500本入

名 称	略 図	員 数
【14-1】ステンレススクリュー釘 L=75		1500

【15】ステンレススクリュー釘 350本入

名 称	略 図	員 数
【15-1】ステンレススクリュー釘 L=75		350

【16】ネジセット コーススレッド

名 称	略 図	員 数
【16-1】φ4.8×65 コーススレッド		350

【17】イペセレクトデッキ用ネジ

名 称	略 図	員 数
【17-1】φ4.8×65フレキコーススレッド		350

■ 梱包明細表

【18】 補修塗料 0.7L缶

名 称	略 図	員 数
補修塗料		1

【19】 WD束調整金具

オプション

名 称	略 図	員 数
束調整金具		1

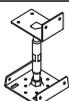
【19-1】 φ4.1×32丸木ネジ



2

【20】 WD束調整金具 振れ止め付

オプション

名 称	略 図	員 数
束調整金具		1

振れ止め板



2

【20-1】 φ4.1×32丸木ネジ



2

【20-2】 φ4×12トラスネジ3種



6

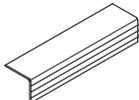
【21】 接着剤

名 称	略 図	員 数
接着剤		1

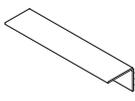
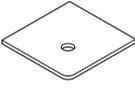
【22】 プライマー

名 称	略 図	員 数
プライマー		1

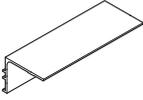
【23】 デッキ見切り材（前面）セット

名 称	略 図	員 数	
		1.5間	2.0間
デッキ見切り材		1	1
コーナー部品		2	2
【23-1】 φ4×12 サラタッピンネジ1種 D=6		20	23

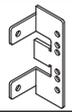
【24】 デッキ見切り材（側面）セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
デッキ見切り材		2	2	2
コーナー部品		4	4	4
ベース材外スペーサー		1	1	1
【24-1】 φ4×12 サラタッピンネジ1種 D=6		30	34	38
【24-2】 φ4×16 ナベドリルネジ		8	10	12

【25】 デッキ受け材セット

名 称	略 図	員 数	
		1.5間	2.0間
デッキ受け材		1	1
【25-1】 φ4×16ナベドリルネジ		18	20

【26】 大引き・ベース材取付部品セット

名 称	略 図	員 数	
		1セット	3セット
大引き・ベース材取付金具		2	6
【26-1】 φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		9	25

【27】 デッキ用ネジセット

名 称	略 図	員数	
		基本	追加
【27-1】 φ4.2×50 フレキドリルネジ		120	60

INDEX

1	基本寸法	6
1.1	基本仕様の場合	6
1.2	入隅仕様の場合	10
2	作業を行う前に	14
2.1	水盛遣方・水系張り	14
2.2	基礎石配置	14
3	基礎の施工	15
3.1	基礎施工1_束柱仕様	15
3.2	基礎施工2_大引仕様	17
4	フラットデッキ仕様の施工 (オープンテラスタイプ・サイドスルータイプ用)	20
4.1	デッキの施工	20
4.2	本体の施工	22
5	内面デッキ立上げ仕様の施工 (ガーデンルームタイプ用)	23
5.1	内面デッキの施工	23
5.2	外面デッキの施工	29
5.3	見切り材の取付け	32
5.4	幕板の取付け	33

1 基本寸法

1. 基本仕様の場合

※図は束柱仕様を示します。

※大引仕様の場合は「ココマ ーガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編ー (E231)」に記載の基礎伏図も確認してください。

1-1 1.0間、1.5間

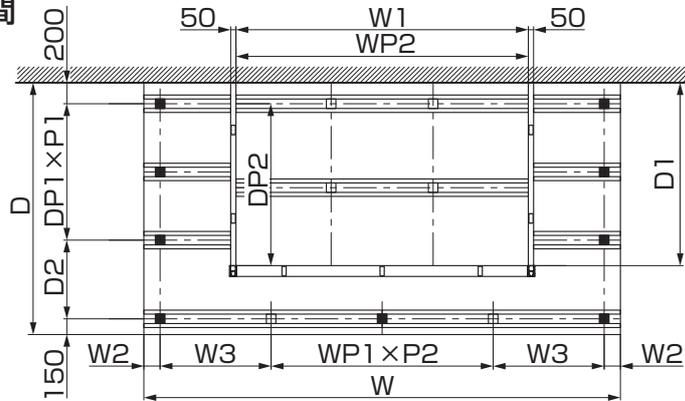


図1-1 内面立上げ仕様基礎伏図

表1-1 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)	P1	DP2 (ピッチ)
4尺	1800	1143	750	1	700	2: 射体側から 493、450
6尺	2400	1743	750	2	650	2: 射体側から 800、743
8尺	2900	2343	600	3	650	3: 射体側から 750、750、643

表1-2 間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1(ピッチ)	P2	WP2 (ピッチ)
1.0間	3520	1825	130.5	1029.5	1	1200	2: 正面左側から 912.5、912.5
1.5間	4507	2765	153.5	1050	2	1050	3: 正面左側から 900、965、900

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

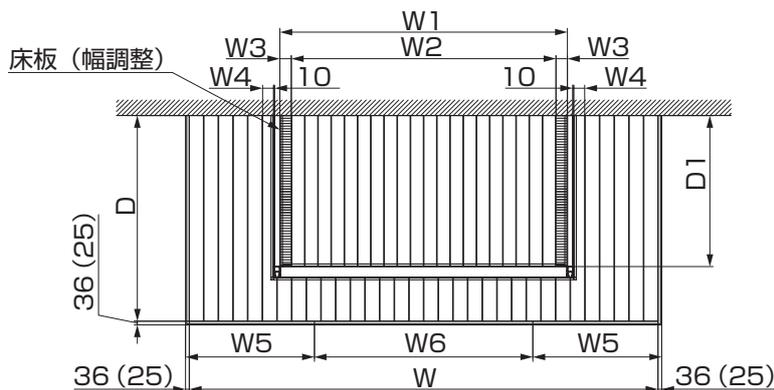


図1-2 内面立上げ仕様デッキ割付け図

表1-3 出幅寸法

	D	D1
4尺	1800	1143
6尺	2400	1743
8尺	2900	2343

表1-4 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	W6
1.0間	3520	1825	1656	84.5	82.5	1796(1785)	0
1.5間	4507	2765	2545	110	106	1239.5(1228.5)	2100

※ () 内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

ポイント

- 外面デッキの前面床板は、L=2900mmから切り出してください。

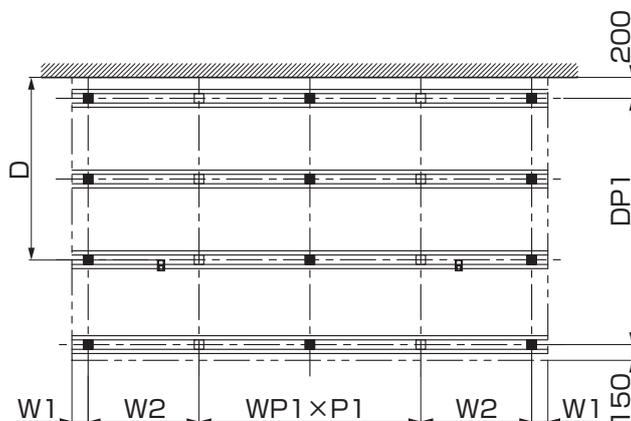


図1-3 フラットデッキ仕様基礎伏図

表1-5 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2 : 射体側から 940、510
6尺	1743	3 : 射体側から 770、770、810
8尺	2343	4 : 射体側から 720、720、700、410

表1-6 間口寸法

	W1	W2	WP1(ピッチ)	P1
1.0間	130.5	1100	1	1200
1.5間	153.5	1050	2	1050

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

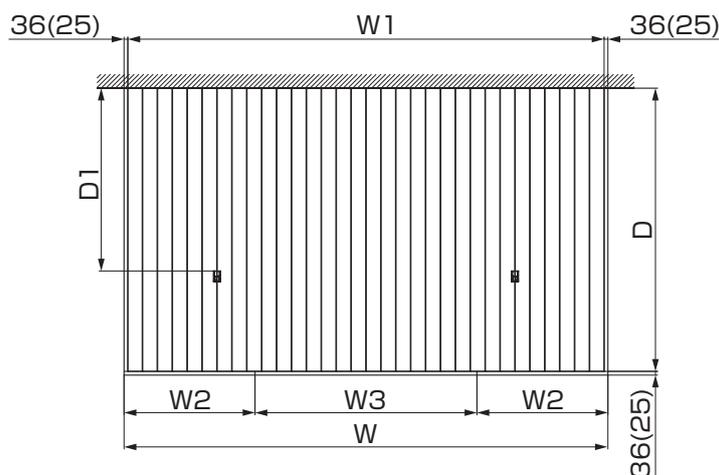


図1-4 フラットデッキ仕様デッキ割付け図

表1-7 出幅寸法

	D	D1
4尺	1800	1143
6尺	2400	1743
8尺	2900	2343

表1-8 間口寸法

	W	W1	W2	W3
1.0間	3733(3711)	3661	1866.5(1855.5)	0
1.5間	4579(4557)	4507	1239.5(1228.5)	2100

※ () 内寸法は、イベセレクトの場合を示します。

1. (つづき) ※図は束柱仕様を示します。
 ※大引仕様の場合は「ココマ ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編一 (E231)」に記載の基礎伏図も確認してください。

1-2 2.0間~3.0間

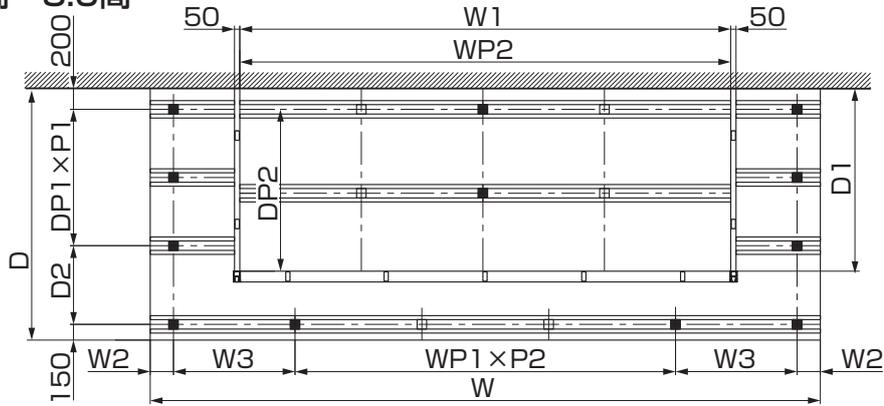


図1-5 内面立上げ仕様基礎伏図

表1-9 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)	P1	DP2 (ピッチ)
4尺	1800	1143	750	1	700	2:射体側から 493、450
6尺	2400	1743	750	2	650	2:射体側から 800、743
8尺	2900	2343	600	3	650	3:射体側から 750、750、643

表1-10 間口寸法

	W	W1	W2	W3	WP1(ピッチ)	P2	WP2 (ピッチ)
2.0間	5353	3705	276.5	1200	1	1200	4:正面左側から 900、900、900、1005
2.5間	6340	4645	220	1150	3	1200	4:正面左側から 1150、1150、1150、1195
3.0間	7045	5585	193	929.5	4	1200	6:正面左側から 900、900、900、950、950、985

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

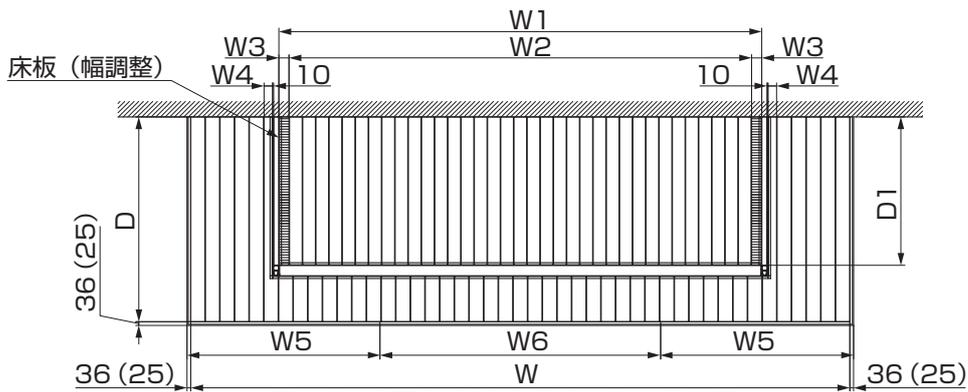


図1-6 内面立上げ仕様デッキ割付け図

表1-11 出幅寸法

	D	D1
4尺	1800	1143
6尺	2400	1743
8尺	2900	2343

表1-12 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	W6
2.0間	5353	3705	3561	72	59	2712.5(2701.5)	0
2.5間	6340	4645	4450	97.5	82.5	1856(1845)	2700
3.0間	7045	5585	5466	59.5	106	2208.5(2197.5)	2700

※ () 内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

ポイント

- 外面デッキの前面床板は、L=2900mmから切り出してください。

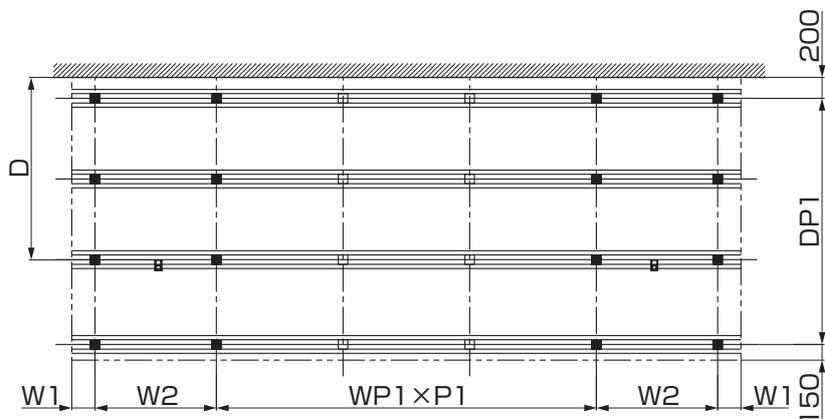


図1-7 フラットデッキ仕様基礎伏図

表1-13 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2: 射体側から 940、510
6尺	1743	3: 射体側から 770、770、810
8尺	2343	4: 射体側から 720、720、700、410

表1-14 間口寸法

	W1	W2	WP1(ピッチ)	P1
2.0間	276.5	1200	2	1200
2.5間	220	1150	3	1200
3.0間	193	1000	4	1200

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

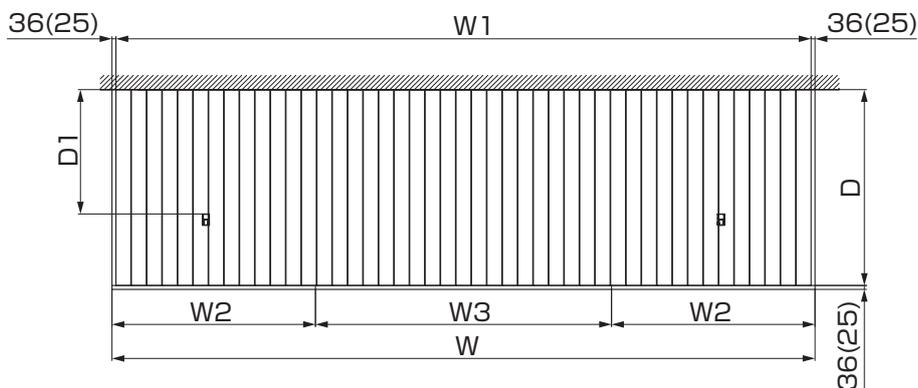


図1-8 フラットデッキ仕様デッキ割付け図

表1-15 出幅寸法

	D	D1
4尺	1800	1143
6尺	2400	1743
8尺	2900	2343

表1-16 間口寸法

	W	W1	W2	W3
2.0間	5425(5403)	5353	2712.5(2701.5)	0
2.5間	6412(6390)	6340	1856(1845)	2700
3.0間	7258(7236)	7186	2179(2168)	2900

※ () 内寸法は、イベセレクトの場合を示します。

2. 入隅仕様の場合

※図は右入隅の場合を示します。

※大引仕様の場合は「ココマ ーガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編ー (E231)」に記載の基礎伏図も確認してください。

2-1 1.0間、1.5間

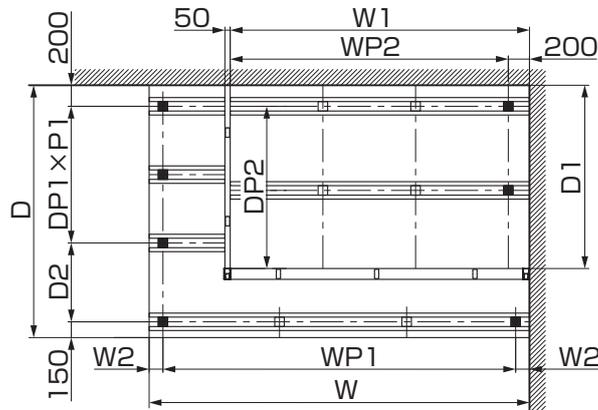


図2-1 内面立上げ仕様基礎伏図

表2-1 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)	P1	DP2 (ピッチ)
4尺	1800	1143	750	1	700	2: 射体側から 493、450
6尺	2400	1743	750	2	650	2: 射体側から 800、743
8尺	2900	2343	600	3	650	3: 射体側から 750、750、643

表2-2 間口寸法

	W	W1	W2	WP1 (ピッチ)	WP2 (ピッチ)
1.0間	2650	1885	137	2: 正面左側から 1200、1176	2: 正面左側から 835、850
1.5間	3590	2825	130.5	3: 正面左側から 1100、1200、1029	3: 正面左側から 875、875、875

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

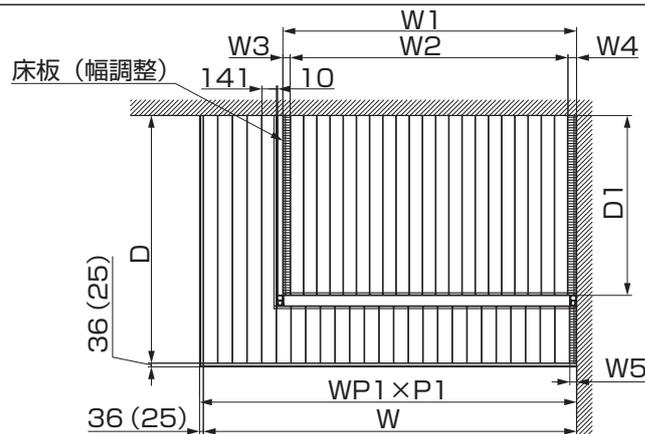


図2-2 内面立上げ仕様デッキ割付け図

表2-3 出幅寸法

	D	D1
4尺	1800	1143
6尺	2400	1743
8尺	2900	2343

表2-4 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	WP1(ピッチ)	P1	W5
1.0間	2650	1885	1783	50	52	1	2686(2675)	112
1.5間	3590	2825	2672	70	83	2	1813(1807.5)	65

※ () 内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

ポイント

- 外面デッキの前面床板は、L=2900mmから切り出してください。

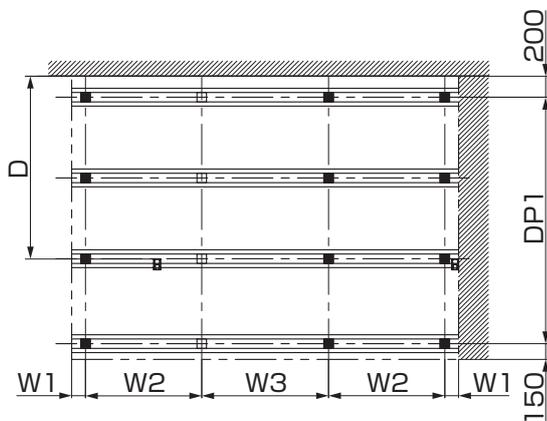


図2-3 フラットデッキ仕様基礎伏図

表2-5 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2 : 射体側から 940、510
6尺	1743	3 : 射体側から 770、770、810
8尺	2343	4 : 射体側から 720、720、700、410

表2-6 間口寸法

	W1	W2	W3
1.0間	137	1200	0
1.5間	130.5	1100	1200

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

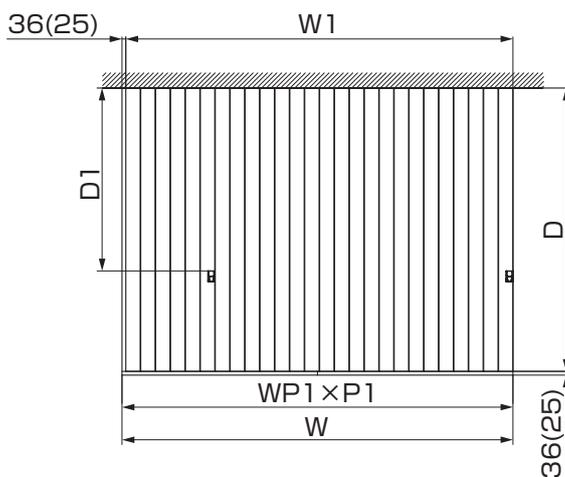


図2-4 フラットデッキ仕様デッキ割付け図

表2-7 出幅寸法

	D	D1
4尺	1800	1143
6尺	2400	1743
8尺	2900	2343

表2-8 間口寸法

	W	W1	WP1 (ピッチ)	P1
1.0間	2710(2699)	2674	1	2710(2699)
1.5間	3697(3686)	3661	2	1848.5(1837.5)

※ () 内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

2. (つづき) ※図は右入隅の場合を示します。
 ※大引仕様の場合は「ココマ ーガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編ー (E231)」に記載の基礎伏図も確認してください。

2-2 2.0間~3.0間

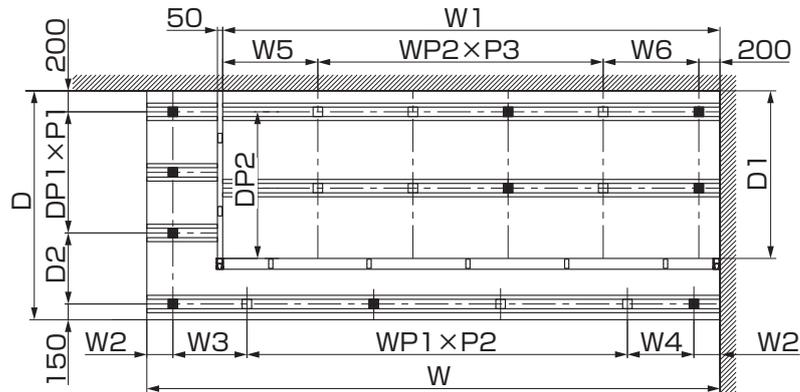


図2-5 内面立上げ仕様基礎伏図

表2-9 出幅寸法

	D	D1	D2	DP1(ピッチ)	P1	DP2 (ピッチ)
4尺	1800	1143	750	1	700	2 : 射体側から 493、450
6尺	2400	1743	750	2	650	2 : 射体側から 800、743
8尺	2900	2343	600	3	650	3 : 射体側から 750、750、643

表2-10 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	WP1(ピッチ)	P2	W5	W6	WP2(ピッチ)	P3
2.0間	4459	3765	203.5	850	802	2	1200	900	865	2	900
2.5間	5423	4705	247	700	629	3	1200	900	905	3	900
3.0間	6410	5645	220	1185	1185	3	1200	1045	1100	3	1100

ポイント

- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

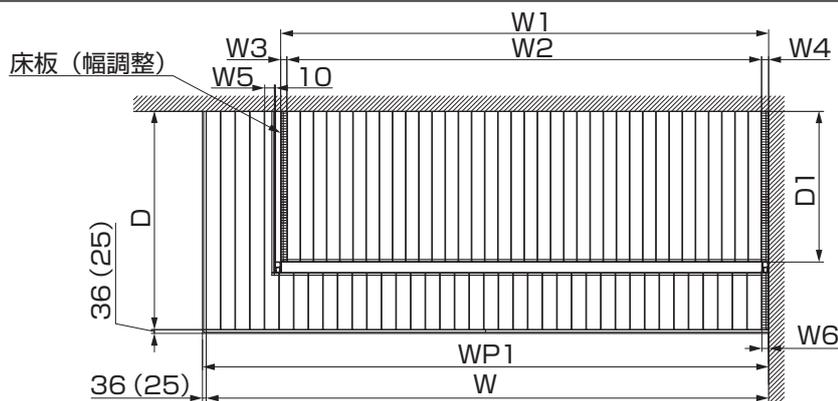


図2-6 内面立上げ仕様デッキ割付け図

表2-11 出幅寸法

	D	D1
4尺	1800	1143
6尺	2400	1743
8尺	2900	2343

表2-12 間口寸法

	W	W1	W2	W3	W4	W5	W6	WP1 (ピッチ)
2.0間	4459	3765	3561	100	104	70	88	2 : 正面左側から 2247.5 (2242)、2247.5 (2242)
2.5間	5423	4705	4577	60	68	94	65	2 : 正面左側から 2729.5 (2724)、2729.5 (2724)
3.0間	6410	5645	5466	90	89	141	65	3 : 正面左側から 1873 (1867.5)、2700、1873 (1867.5)

ポイント

- 外面デッキの前面床板は、L=2900mmから切り出してください。

※ () 内寸法は、イペセレクトの場合を示します。

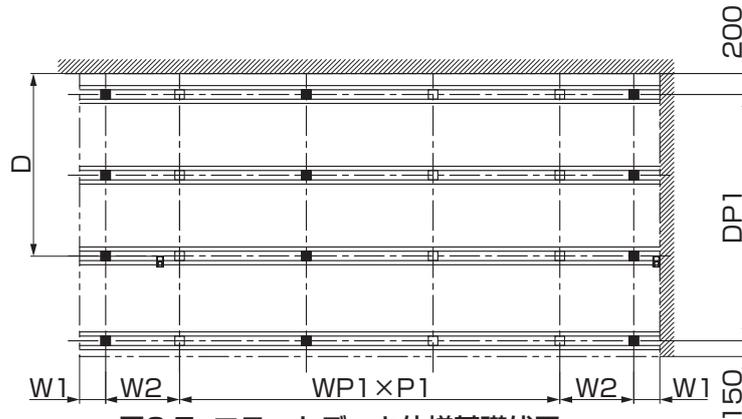


図2-7 フラットデッキ仕様基礎伏図

表2-13 出幅寸法

	D	DP1 (ピッチ)
4尺	1143	2 : 射体側から 940、510
6尺	1743	3 : 射体側から 770、770、810
8尺	2343	4 : 射体側から 720、720、700、410

表2-14 間口寸法

	W1	W2	WP1(ピッチ)	P1
2.0間	203.5	850	2	1200
2.5間	247	700	3	1200
3.0間	220	1150	3	1200

ポイント

- ベース材の下に大引がくるようにしてください。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱の位置を示します。
- 「■部および□部」は、束柱仕様の場合は束柱受金具または大引受金具を使用してください。
- 「■部および□部」は、大引仕様の場合は束柱受金具または大引受金具の位置を示します。
- 「■部および□部」は、大引仕様で束調整金具仕様の場合、金具を使用する位置を示し、さらに■部では振れ止め付を使用してください。
- 束柱仕様の場合、根太のつなぎ目には根太受け金具を使用してください。

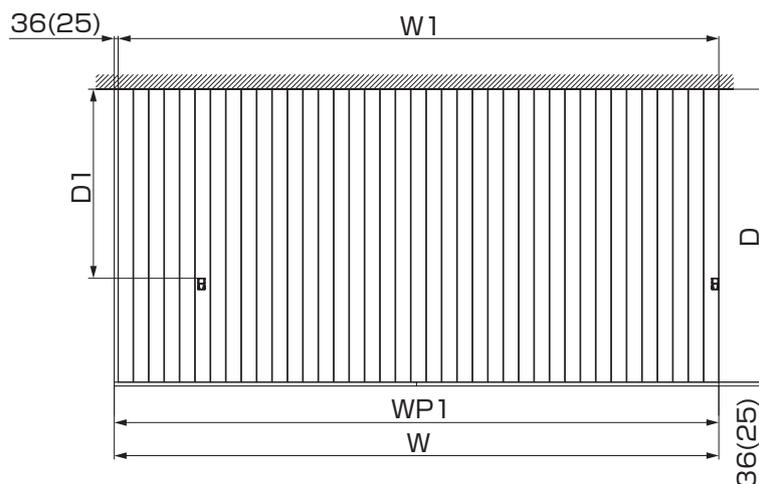


図2-8 フラットデッキ仕様デッキ割付け図

表2-15 出幅寸法

	D	D1
4尺	1800	1143
6尺	2400	1743
8尺	2900	2343

表2-16 間口寸法

	W	W1	WP1(ピッチ)
2.0間	4543(4532)	4507	2 : 正面左側から 2271.5 (2266)、2271.5 (2266)
2.5間	5530(5519)	5494	2 : 正面左側から 2765 (2759.5)、2765 (2759.5)
3.0間	6376(6365)	6340	3 : 正面左側から 1838 (1832.5)、2700、1838 (1832.5)

※ () 内寸法は、イベセレクトの場合を示します。

2 作業を行う前に

1. 水盛遣方・水糸張り

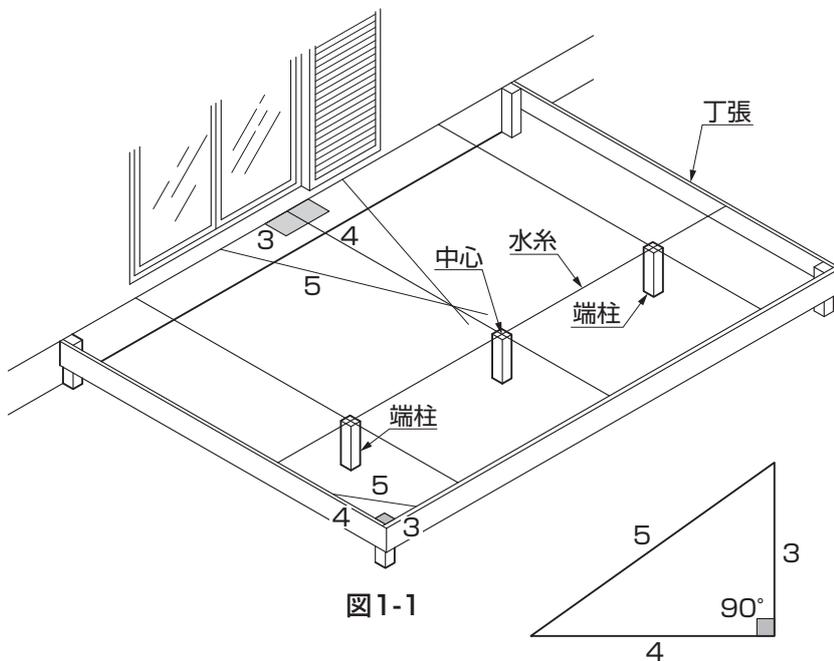


図1-1

図1-2 直角出し寸法

- ① 本体編 (E231・E233) を参照して、ココマ本体の取付け位置とココマ面床レベルを決めてください。
- ② 前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③ 躯体に柱寸法の印を付け、図1-2の直角出し寸法の方法で直角を出し、本体の中心位置出しをしてください。
- ④ 本体の中心の位置から、両側の端柱位置を決めてください。

ポイント

- 丁張の位置はデッキ面より正面・両側面ともやや大きめに決めてください。
- 丁張は水平器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を出してください。

2. 基礎石配置

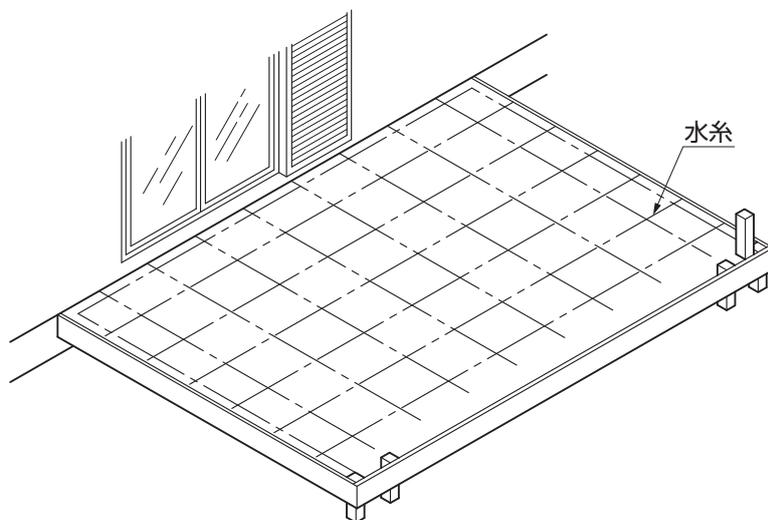


図1-3

- ① 前面・両側面の水糸に寸法出しをし、「1 基本寸法」を参照して、基礎石の位置を決定してください。

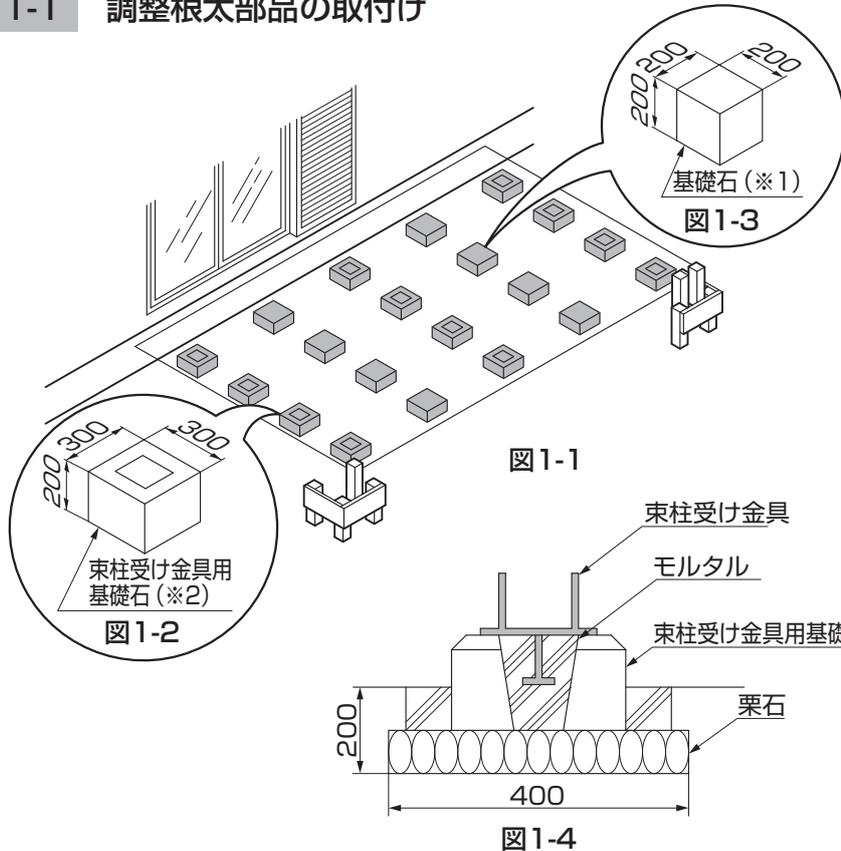
ポイント

- 本体の仕様位置によっては、柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。

3 基礎の施工

1. 基礎施工1 束柱仕様 ※束柱仕様の場合の作業です。

1-1 調整根太部品の取付け



- ①各基礎石の位置を約400mm角、深さ200mmに掘り、栗石を敷いて、基礎石(※1)と、束柱受け金具用基礎石(※2)を据えてください。

ポイント

- この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。

- ②基礎石のレベルを出してください。
- ③図1-4のように、束柱受け金具用基礎石にモルタルで、束柱受け金具を埋込んでください。
- ④基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。

ポイント

- コンクリートで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

1-2 束柱の建て込み

(1) フラットデッキの場合

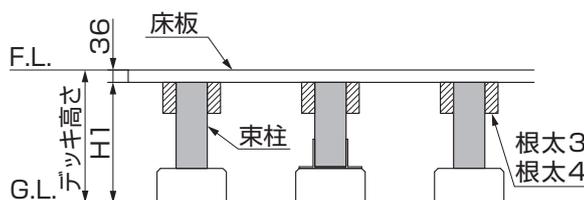


図1-5 ウェスタン・レッドシダーの場合の束柱の高さ寸法

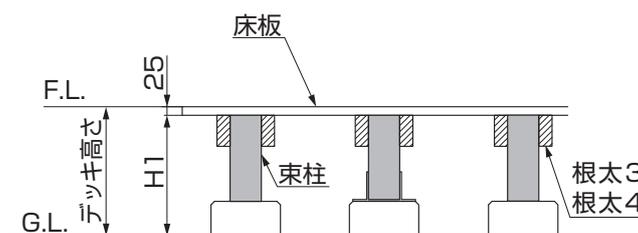


図1-6 イペセレクトの場合の束柱の高さ寸法

- ①束柱の高さ寸法のH1を出してください。(図1-5、図1-6参照)

補足

- H1はデッキ部束柱の高さを示します。

- ②両端部に束柱を建てて、オートレベル器もしくは水盛器でレベルを出し、水系を張って残りの束柱を建ててください。

ポイント

- 束柱の上面が設定レベルH1より上に出ないようにしてください。

1. (つづき)

1-2 つづき

(2) 内面立ち上げ仕様の場合

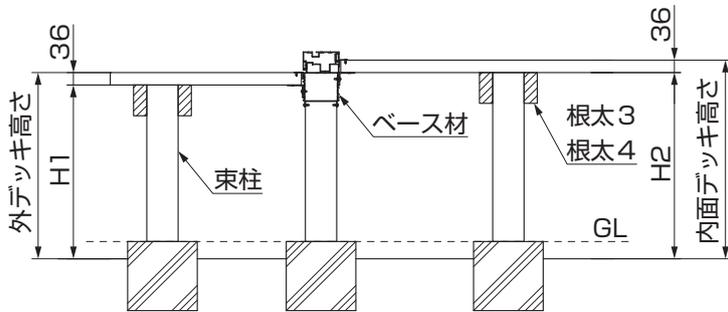


図1-7 ウェスタン・レッドシダーの場合

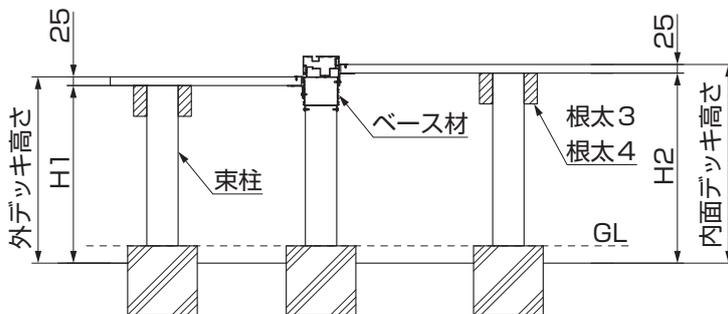


図1-8 イペセレクトの場合

① 束柱の高さ寸法のH1、H2を出してください。(図1-7、図1-8参照)

補足

- H1、H2はデッキ部束柱の高さを示します。
- H2=H1+36mmです。

② 両端部に束柱を建てて、オートレベル器もしくは水盛器でレベルを出し、水糸を張って残りの束柱を建ててください。

ポイント

- 束柱の上面が設定レベルH1、H2より上に出ないようにしてください。

(3) 束柱の建込み

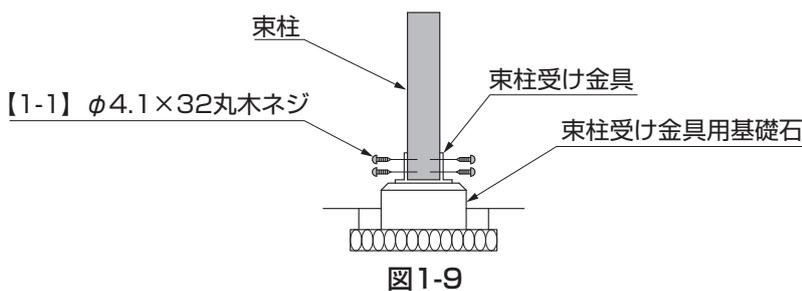


図1-9

③ 束柱受け金具を埋込んだ基礎石に束柱を建てて、【1-1】で固定してください。(図1-9参照)

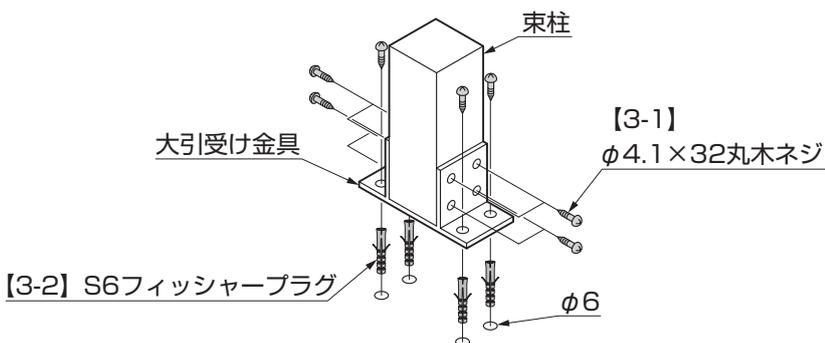


図1-10

ポイント

- 床面がコンクリートまたはタイル貼りしてある場合は、床に、【3-2】を埋込んで、束柱と床面を大引受け金具で固定してください。(図1-10参照)

1-3 根太の取付け ※内面デッキ立上げ仕様（ガーデンルームタイプ）の場合は、「5 内面立上げ仕様の施工（ガーデンルームタイプ用）」を参照してください。

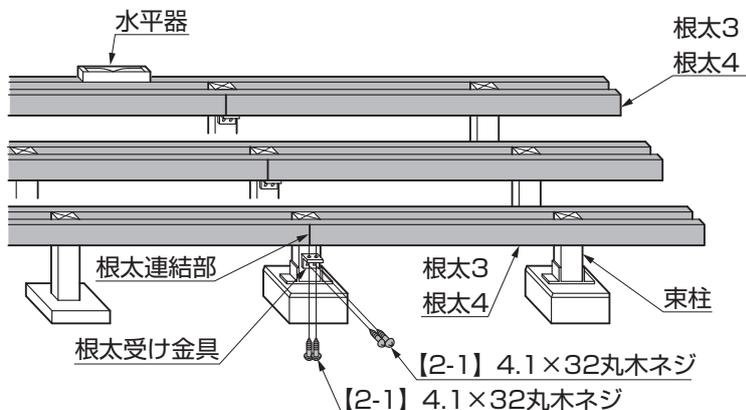


図1-11 根太の取付け

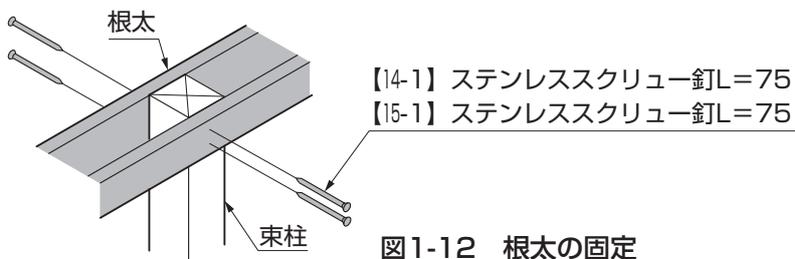


図1-12 根太の固定

① レベルに合わせて根太を束柱に、【14-1】または【15-1】で止めてください。
根太の連結は束柱のセンターで行ない、根太受け金具を、【2-1】で固定してください。

ポイント

● 根太の水平が出るように施工してください。水平が出ていないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

② 束柱に根太受け金具を止めて、根太と【2-1】で固定してください。

2. 基礎施工2_大引仕様

※大引仕様の場合の作業です。
※大引の水平が出るように施工してください。
水平が出ないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

2-1 高さ出し

(1) フラット仕様施工の場合

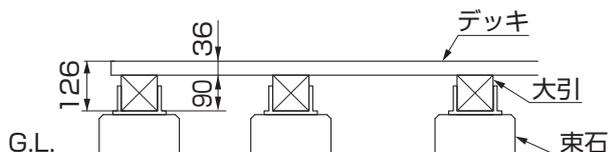


図2-1 ウェスタン・レッドシダーの場合

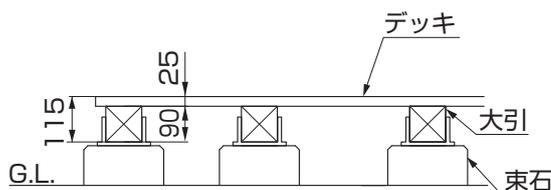


図2-2 イペセレクトの場合

(2) 内面立上げ仕様施工の場合

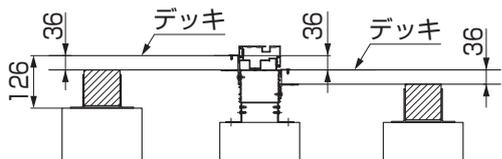


図2-3 ウェスタン・レッドシダーの場合

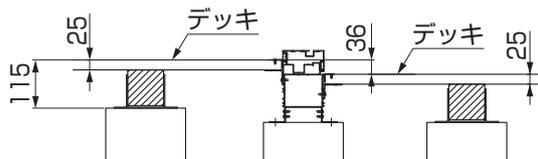


図2-4 イペセレクトの場合

① 図を参照して、G.L.からの高さを出してください。

ポイント

● 内面デッキ立上げ仕様の場合は、内面デッキの床板が外デッキの床板から36mm立ち上がるように基礎石を据えてください。

2. (つづき)

2-2 大引受け金具使用の場合

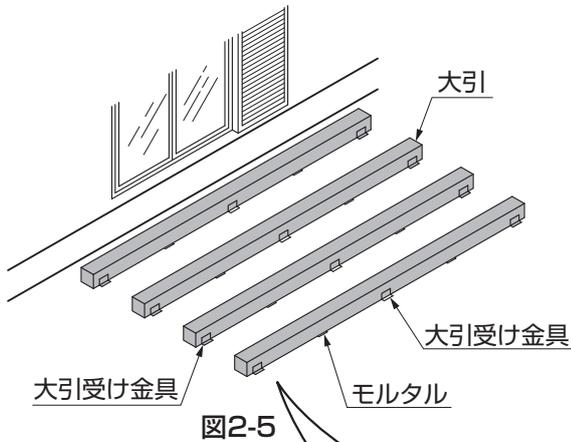


図2-5

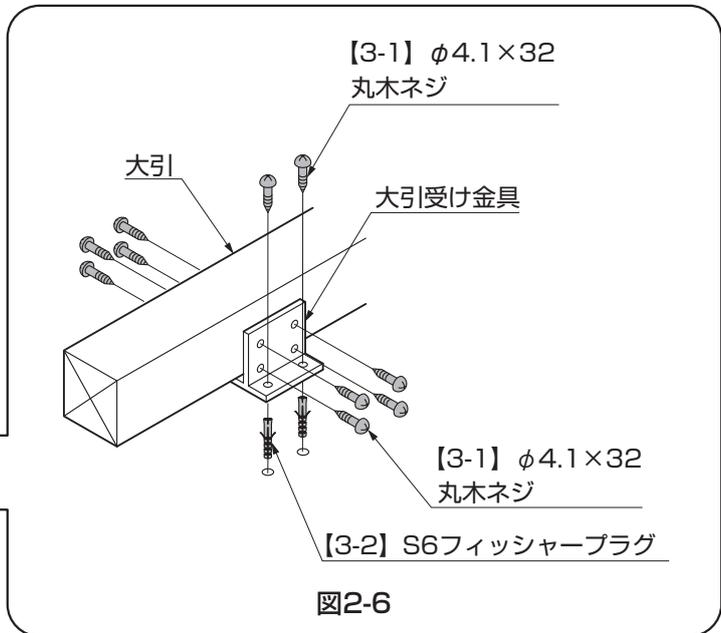


図2-6

- ① 「1 基本寸法」を参照して、基礎石または土間コンクリートに大引受け金具を、【3-1】、【3-2】で固定してください。
- ② 大引のレベル出しをして、大引受け金具にのせて横から、【3-1】で固定してください。

ポイント

- 大引と大引受け金具の間にすき間が生じた場合モルタル等で補強してください。

2-3 束柱受け金具使用の場合

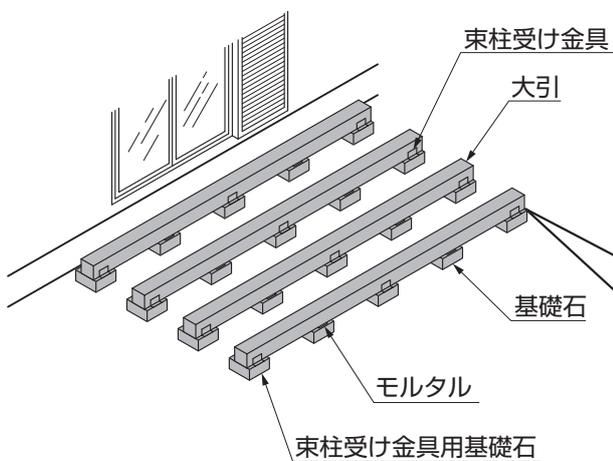


図2-7

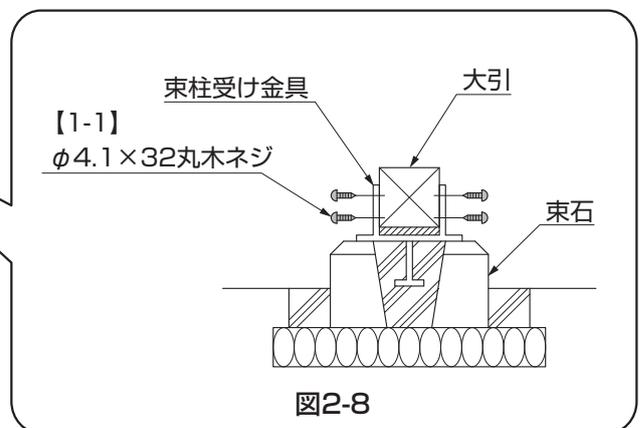


図2-8

- ① 「1 基本寸法」を参照して、各々の基礎石に束柱受け金具をモルタルで固定してください。
- ② 大引のレベルを出して、束柱受け金具にのせて横から、【1-1】で固定してください。

2-4 束調整金具使用の場合

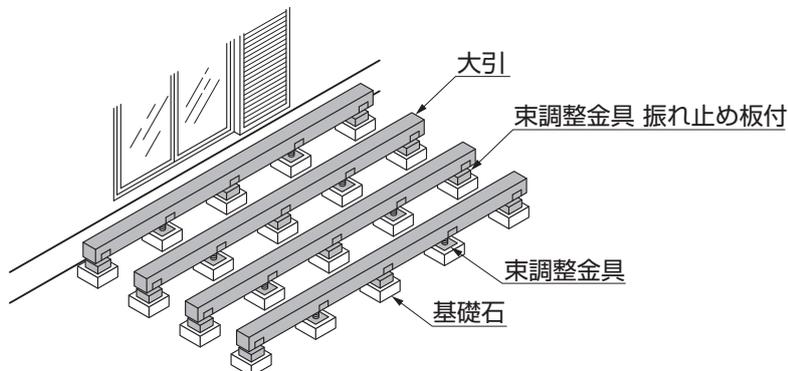


図2-9

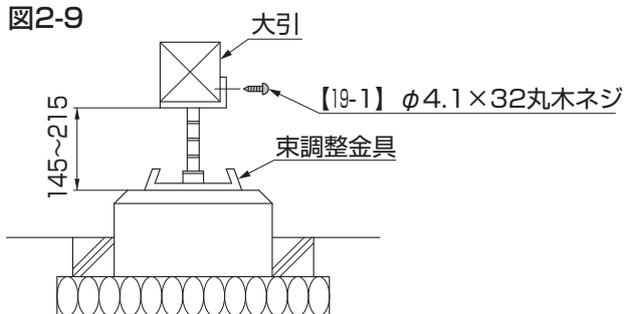


図2-10

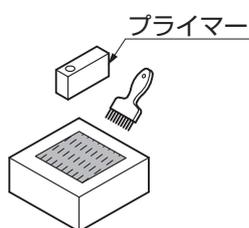


図2-11

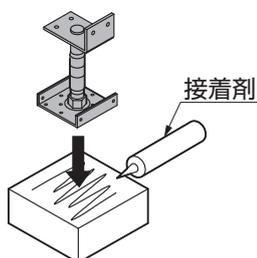


図2-12

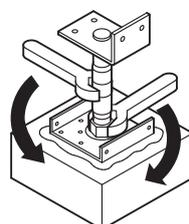


図2-13

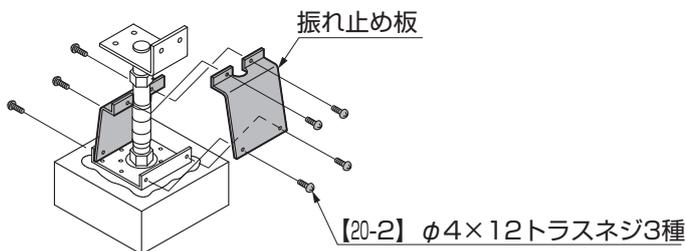


図2-14 振れ止め板の取付方法

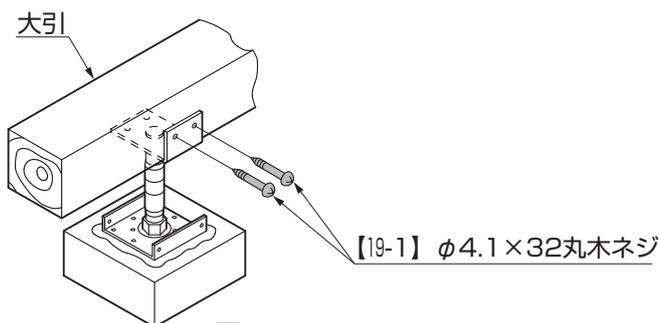


図2-15

- ① 図2-11のように、束石の束調整金具取付け位置に、プライマーを塗布してください。
- ② プライマーを塗布したところに接着剤を塗布してください。

ポイント

● 接着剤の塗布は、プライマー塗布後30分～4時間以内に行なってください。

- ③ ヘラで接着剤をならして、束調整金具を接着してください。

ポイント

● 接着後は束調整金具を動かさないようにしてください。

- ④ 図2-13のように調整金具の各々のレベル調整を行ない、シャフトに組付いている六角ナットを締めて固定してください。

ポイント

● 束調整金具の高さは、145mm～215mmまで調整可能です。

- ⑤ 「基本寸法」を参照して、必要な部分に、振れ止め板を束調整金具に、【20-2】で取付けてください。(図2-14参照)
- ⑥ 大引を束調整金具にのせて、横から【19-1】で束調整金具に固定してください。(図2-15参照)

4 フラットデッキ仕様の施工 (オープンテラスタイプ・サイドスルータイプ用)

1. デッキの施工

1-1 ウェスタン・レッドシダーの場合

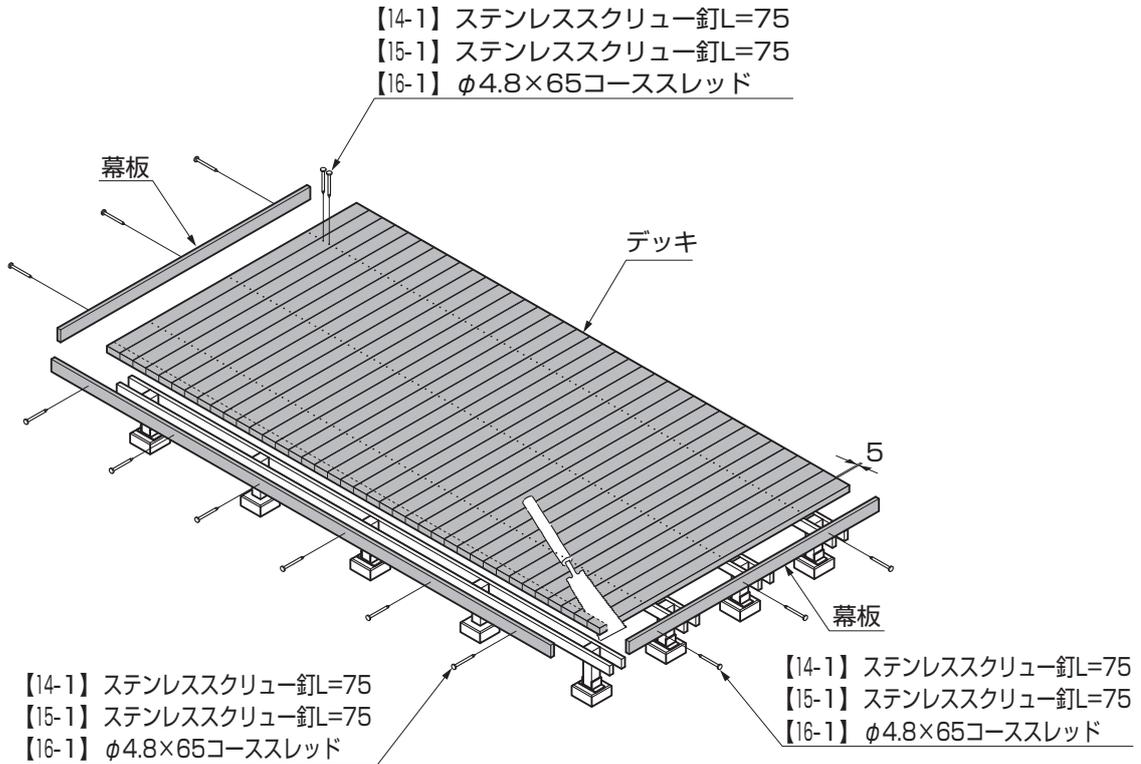


図1-1

①デッキを根太または大引に、【14-1】または【15-1】、【16-1】で、取付けてください。

ポイント

- 板張り込みはセンターから左右に張り込みしてください。
- 目地ピッチは約5mmあけてください。目地が小さいとデッキに落ちる水の流れが悪くなり腐れの原因になります。

②側面および前面に幕板を、【14-1】または【15-1】、【16-1】で止めてください。

ポイント

- 前面の幕板はデッキのラインをそろえてから、前面幕板を止めてください。
- デッキ、幕板をよりきれいに仕上げる場合は、下穴に加え皿取りをしてください。

1-2 イペセレクトの場合

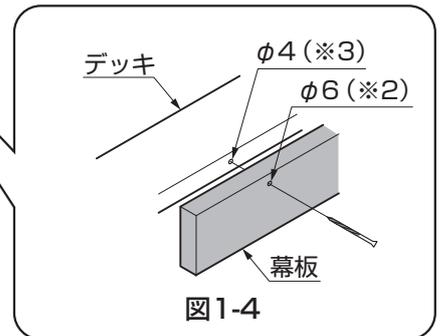
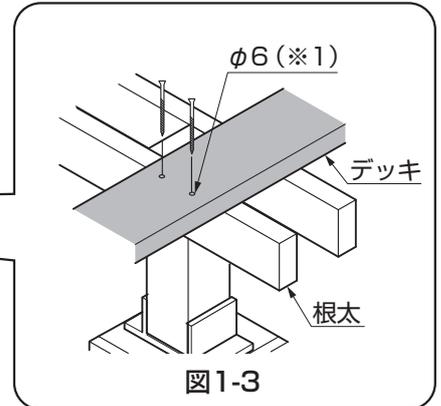
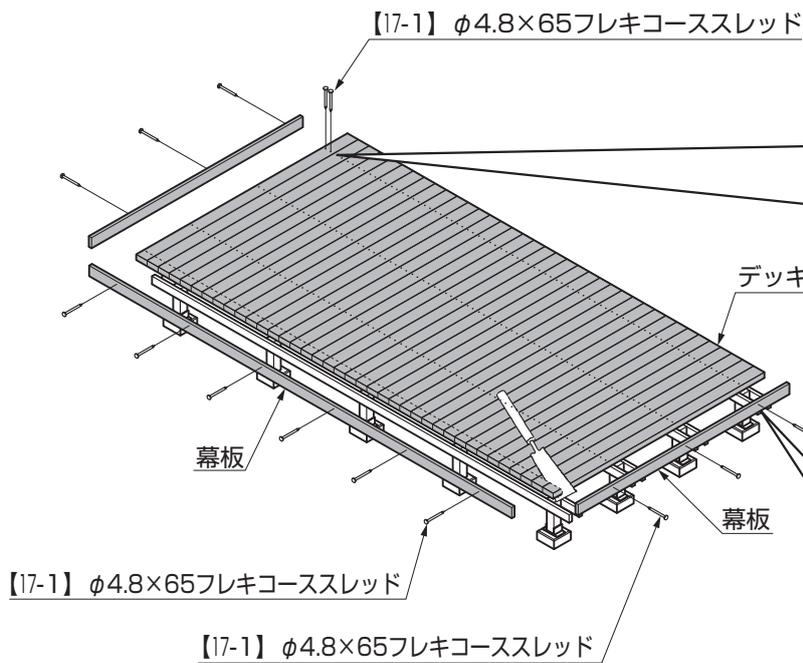


図1-2

- ①デッキに、φ6の下穴(※1)をあけてください。
- ②デッキを根太または大引に、【17-1】で取付けてください。

ポイント

- 板張り込みは、センターから左右に張り込みしてください。
- 目地ピッチは約5mmあけてください。目地が小さいと、デッキに落ちる水の流れが悪くなり腐れの原因になります。

- ④側面および前面に幕板を、【17-1】で止めてください。

ポイント

- 幕板に、φ6の下穴(※2)をあけてください。
- 前面の幕板は、デッキのラインをそろえてから前面幕板を止めてください。
- イペセレクト材にイペセレクト用デッキネジを打ち込む場合は、φ4の下穴(※3)を開けてください。
- デッキ、幕板をよりきれいに仕上げる場合は、下穴に加え皿取りをしてください。

2. 本体の施工

2-1 端部柱固定ベースの取付け ※図は右側を示します。左側の切断は図と対称です。

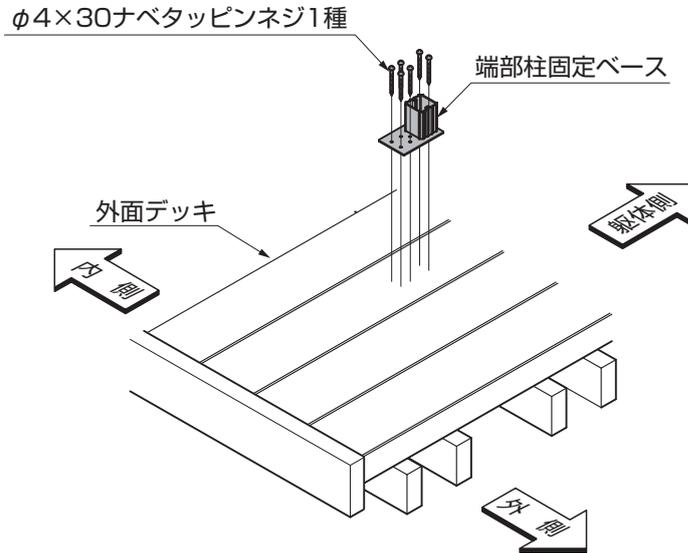


図2-1

①端部柱固定ベースを外面デッキに、「φ4×30ナベタッピンネジ1種」で取付けてください。(図2-1参照)

ポイント

- 柱の取付けは、「ココマーガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編－(E231)」、「ココマーオープンテラスタイプ、オープンテラス腰壁タイプ編－(E233)」を参照してください。

2-2 ベース受けの取付け

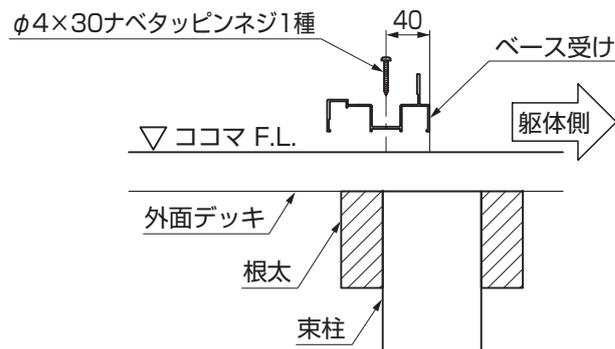


図2-2

①ベース受けを外面デッキに、「φ4×30ナベタッピンネジ1種」で取付けてください。(図2-2参照)

ポイント

- ベース受けの取付けから下レールの取付けは、「ココマーガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ編－(E231)」を参照してください。

5 内面デッキ立上げ仕様の施工 (ガーデンルームタイプ用)

1. 内面デッキの施工

1-1 根太の取付け

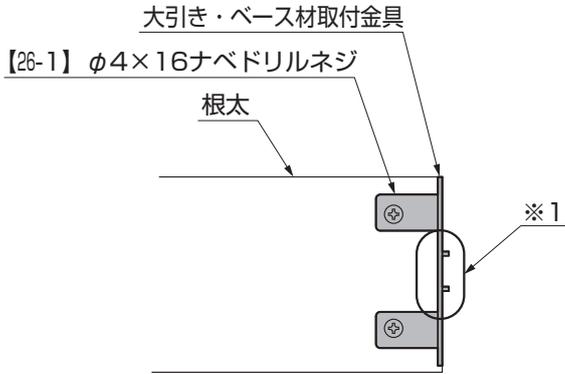


図1-1

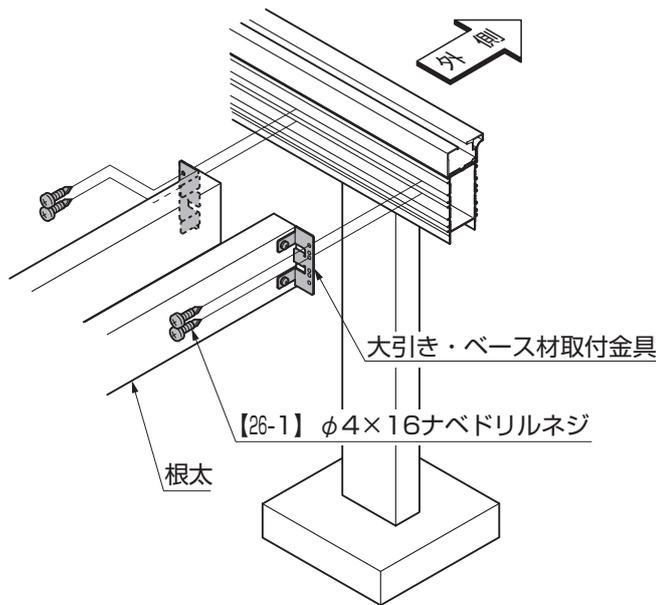


図1-2

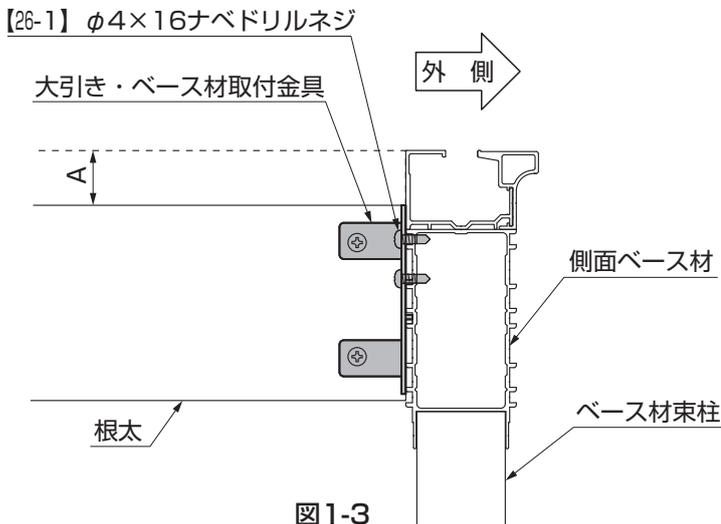


図1-3

- ①根太を内面デッキ内々寸法で切断してください。
- ②根太に大引・ベース材取付金具を【26-1】で取付けてください。

ポイント

●大引・ベース材取付金具は、金具の上面と根太の上面を合わせ、部品中央部のフィンの分(※1)だけが、根太端面から出っ張るように取付けてください。

- ③大引・ベース材取付金具を側面ベース材に【26-1】で取付けてください。

表1-1 A寸法

	A
イベセレクト	25
ウエスタン・レッドシダー	36

1. (つづき)

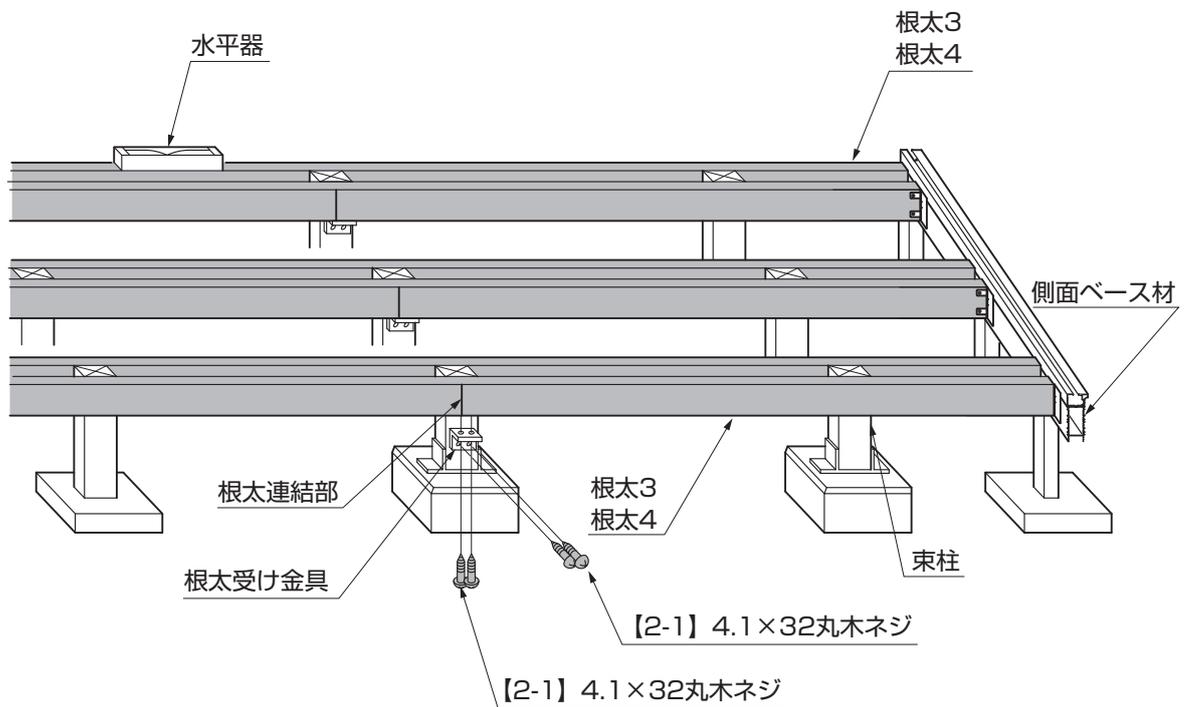


図1-4 根太の取付け

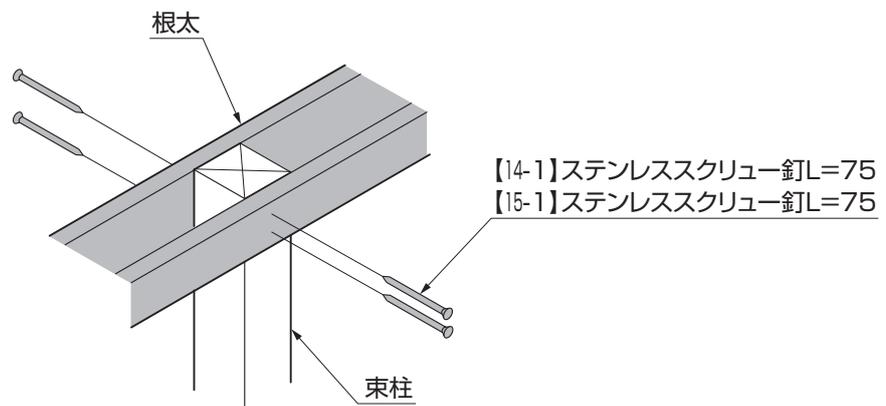


図1-5 根太の固定

- ④レベルを合わせて根太と束柱を【14-1】または【15-1】で固定してください。根太の連結は束柱のセンターで行ない、根太受け金具を【2-1】で固定してください。

ポイント

- 根太の水平が出るように施工してください。水平が出ていないとパネルの開閉に支障をきたす場合があります。

- ⑤束柱に根太受け金具を止めて、根太と【2-1】で固定してください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

1. (つづき)

1-2 内面デッキの張付け

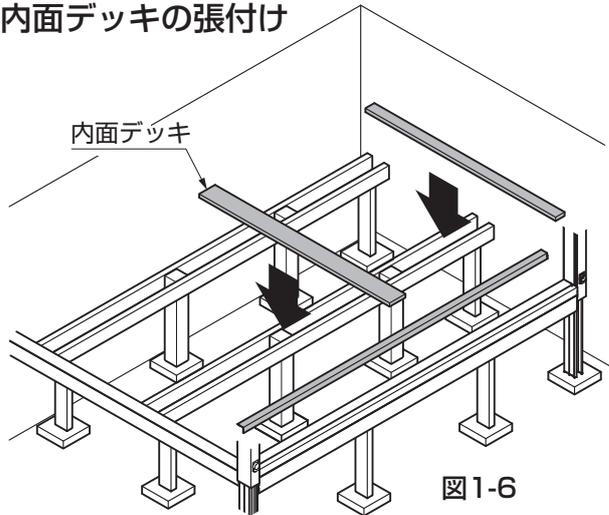


図1-6

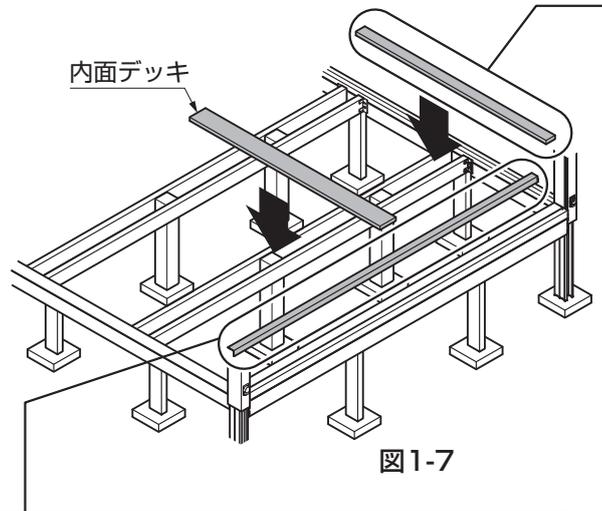


図1-7

(1) デッキ受け材の取付け

【25-1】φ4×16
ナベドリルネジ

デッキ受け材

前面ベース材

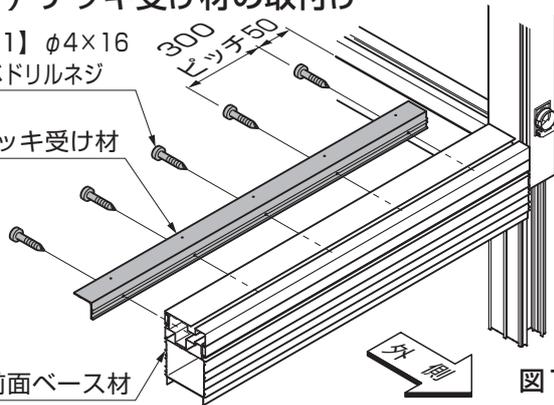


図1-8

①デッキ受け材を前面ベース材に【25-1】で取付けてください。

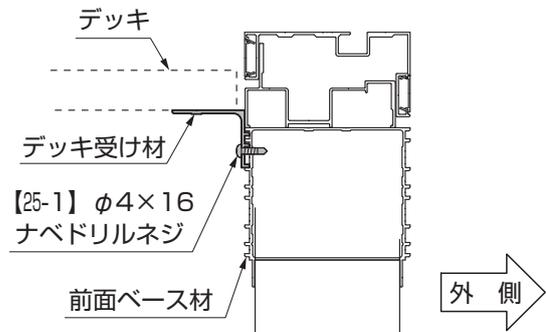


図1-9

補足

- ウエスタン・レッドシダー、イペセレクトの場合は、デッキ受け材の加工されている穴は使用しません。

(3) デッキの張付け

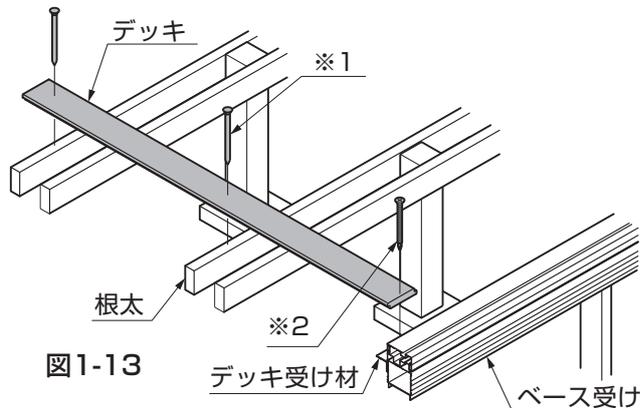


図1-13

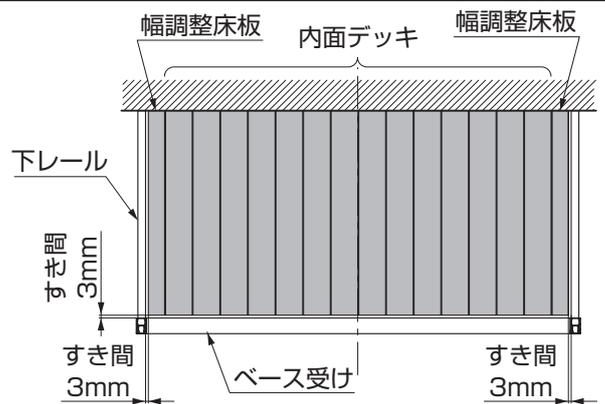


図1-14

①デッキをデッキ受け材に【27-1】、根太に【17-1】で取付けてください。

ポイント

- 内面デッキとベースのすき間を3mm程度あけて張込んでください。
- イペセレクトの場合は、デッキにφ6の下穴をあけて取付けてください。

表1-3 デッキ取付けネジ使い分け表

	固定箇所：根太(※1)	固定箇所：デッキ受け材(※2)
イペセレクト	【17-1】φ4.8×65 フレキコースレッド	【27-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ
ウエスタン・レッドシダー	【14-1】、【15-1】 ステンレスクリュー釘 L=75	【27-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ

(2) 幅調整床板の加工

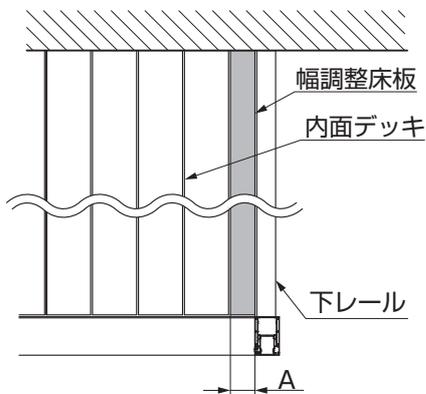


図1-10

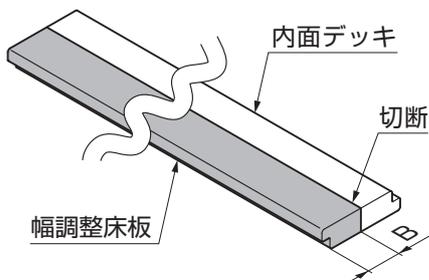


図1-11

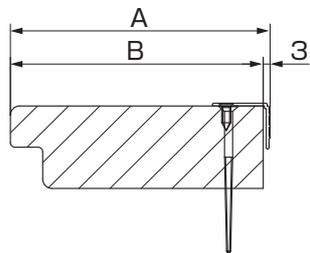


図1-12

A : 見切り材を含む調整幅
B : 床板縦切りW寸法

表1-2 内面デッキ 幅調整床板加工寸法

	(左) 幅調整床板寸法		(右) 幅調整床板寸法	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
基本1.0間	84.5	81.5	84.5	81.5
基本1.5間	110	107	110	107
基本2.0間	72	69	72	69
基本2.5間	97.5	94.5	97.5	94.5
基本3.0間	59.5	56.5	59.5	56.5
入隅1.0間	50	47	52	49
入隅1.5間	70	67	83	80
入隅2.0間	100	97	104	101
入隅2.5間	60	57	68	65
入隅3.0間	90	87	89	86

① 図1-11、図1-12、表1-2を参照して、両端に取付けるデッキを幅調整床板に加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

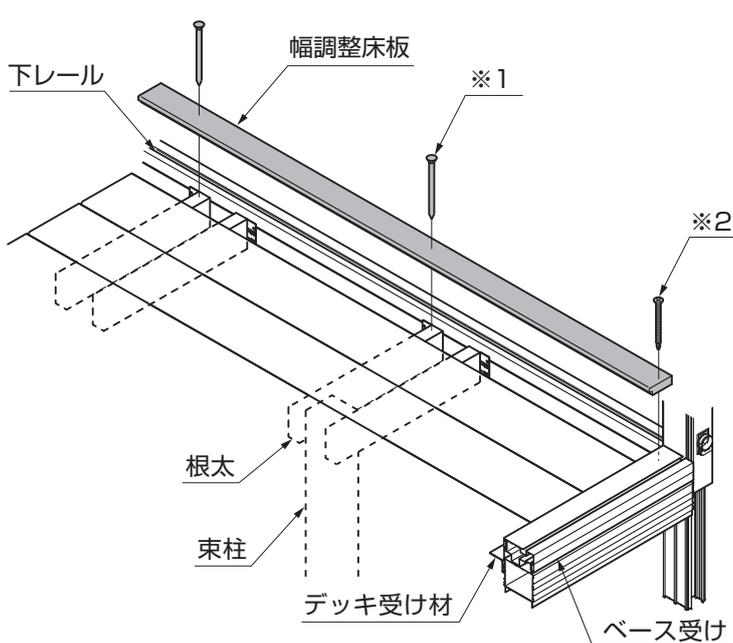


図1-15

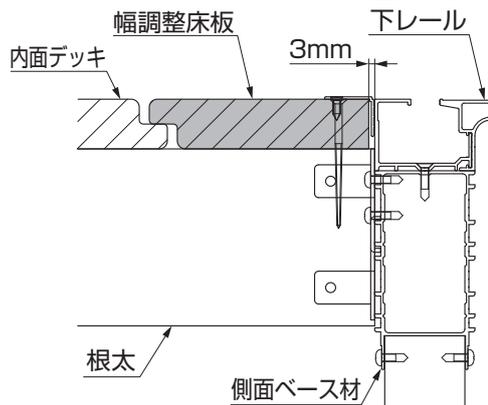


図1-16

② 幅調整床板をデッキ受け材に【27-1】、根太に【14-1】、【15-1】、【17-1】で取付けてください。(表1-3参照)

ポイント

●幅調整床板とベース・下レールのすき間を3mm程度あけて張込んでください。

1. (つづき)

1-3 見切り材の取付け

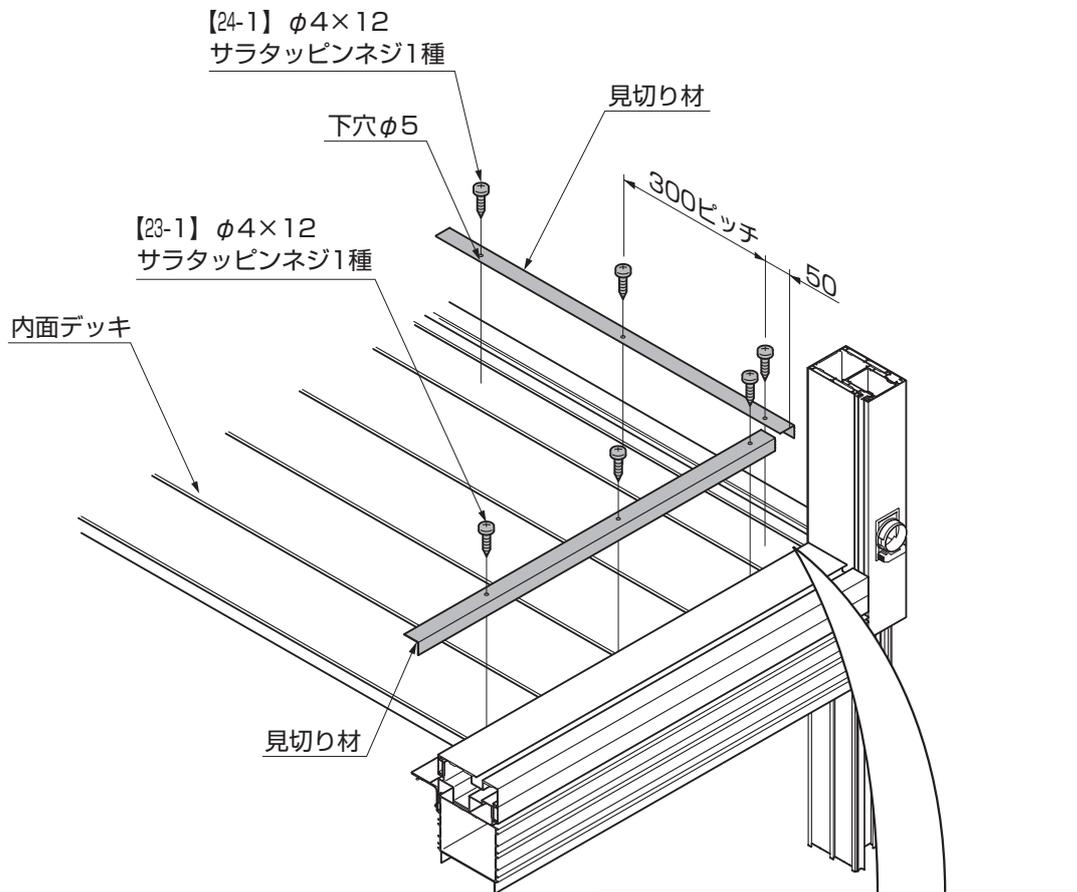


図1-17

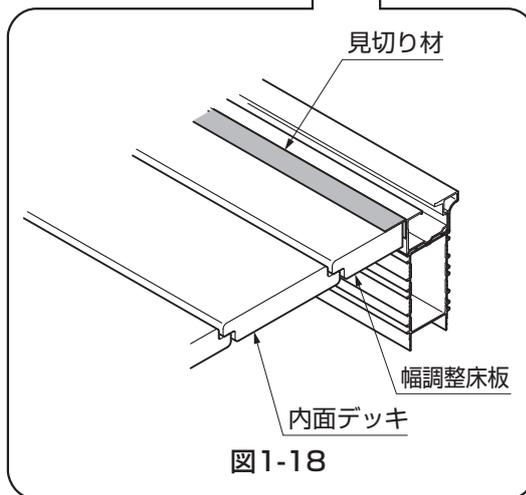


図1-18

- ①見切り材を固定する位置にφ5の下穴をあけてください。
- ②見切り材をデッキの端部にはめ込んで、【23-1】、【24-1】で取付けてください。

ポイント

- 見切り材を固定する位置に下穴加工をする際、幅調整床板を固定しているネジ位置を避けるよう、確認してから下穴加工をしてください。
- イペセレクトの場合は、床板にφ3の下穴をあけてください。

2. 外面デッキの施工

2-1 根太の取付け

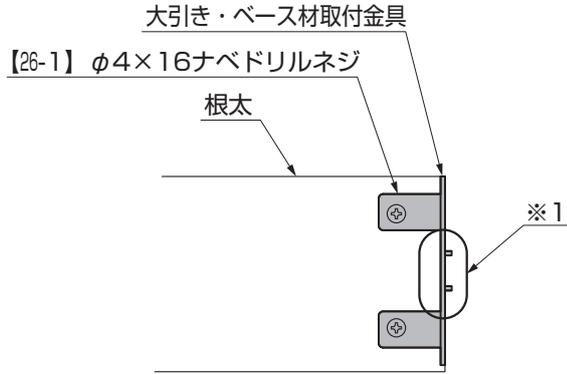


図2-1

- ① 根太に大引・ベース材取付金具を【26-1】で取付けてください。

ポイント

- 大引・ベース材取付金具は、金具の上面と根太の上面を合わせ、部品中央部のフィンの分(※1)だけが、根太端面から出っ張るように取付けてください。

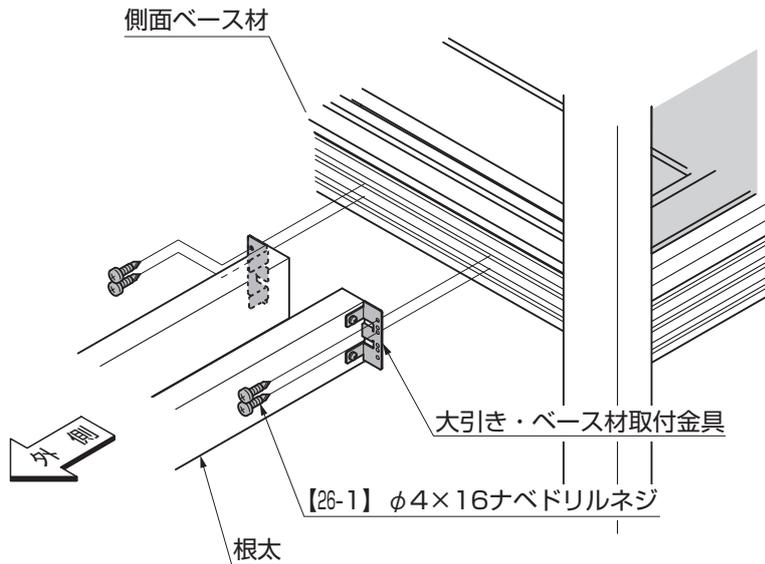


図2-2

- ② 大引・ベース材取付金具を側面ベース材に【26-1】で取付けてください。

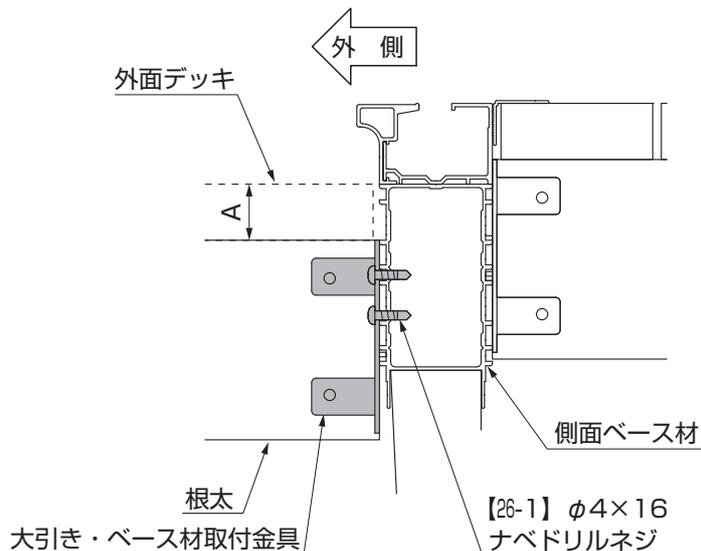


図2-3

表2-1 A寸法

	A
イペセレクト	25
ウエスタン・レッドシダー	36

2. (つづき)

2-2 外面デッキの張付け

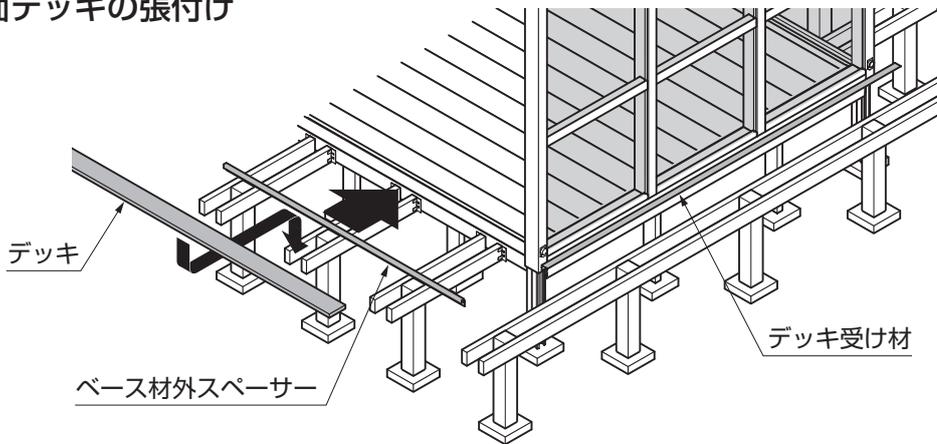


図2-4

(1) デッキ受け材、ベース材外スペーサーの取付け

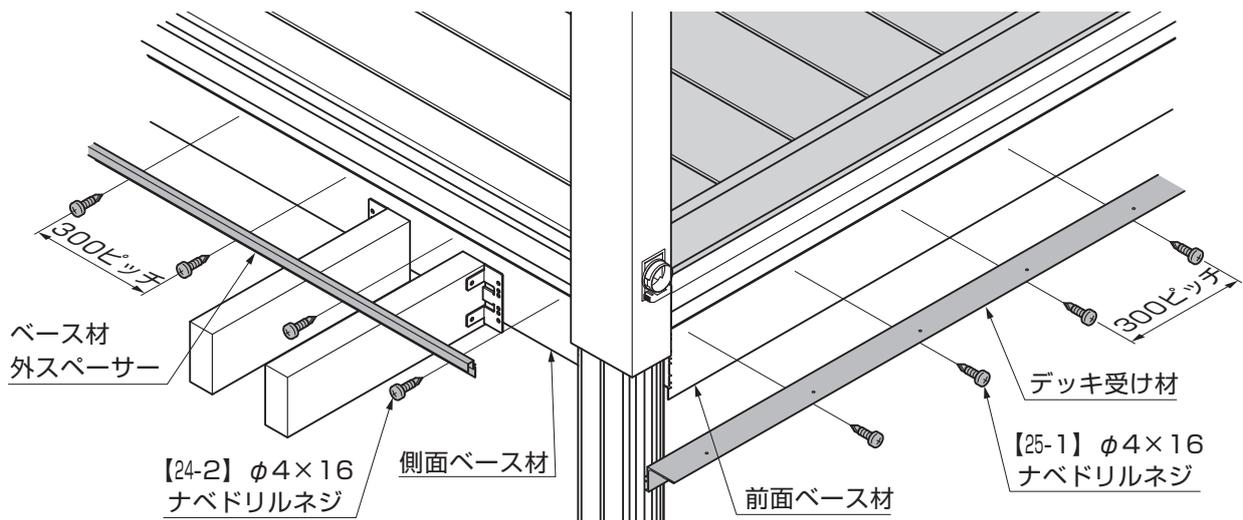


図2-5

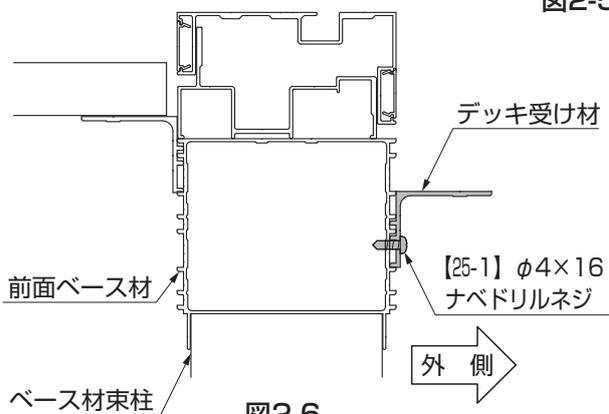


図2-6

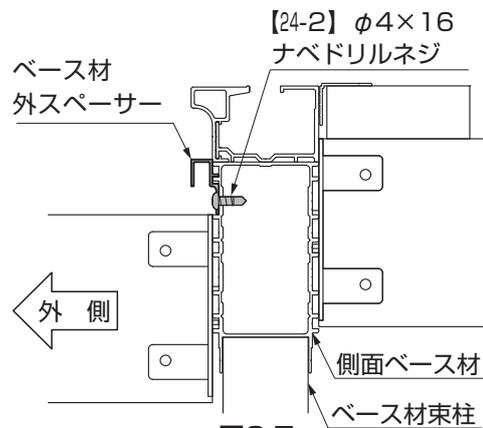


図2-7

- ① デッキ受け材を前面ベース材に【25-1】で取付けてください。
- ② ベース材外スペーサーを側面ベース材に【24-2】で取付けてください。

補足

●ウェスタン・レッドシダーとイペセレクトの場合は、デッキ受け材の加工穴は使用しません。

(2) 幅調整床板の加工

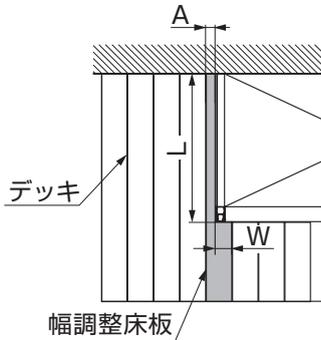
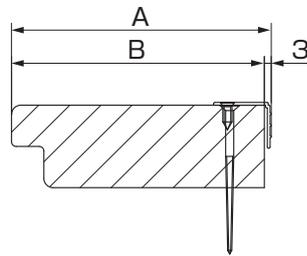


図2-8



A: 見切り材を含む調整幅
B: 床板縦切りW寸法

図2-10

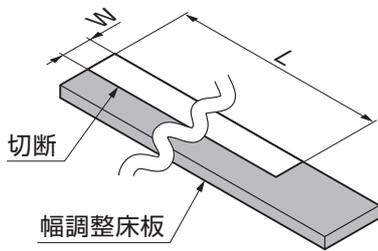


図2-9

表2-2 外面デッキ 幅調整床板加工寸法

	(左) 幅調整床板寸法		(右) 幅調整床板寸法	
	A寸法	B寸法	A寸法	B寸法
基本1.0間	82.5	79.5	82.5	79.5
基本1.5間	106	103	106	103
基本2.0間	65	62	65	62
基本2.5間	82.5	79.5	82.5	79.5
基本3.0間	106	103	106	103
入隅1.0間	141	138	112	109
入隅1.5間	141	138	65	62
入隅2.0間	70	67	88	85
入隅2.5間	94	91	65	62
入隅3.0間	141	138	65	62

①デッキの加工位置を確認してください。(図2-8参照)

②図2-8、図2-9、図2-10、表2-2を参照して、本体に干渉するデッキを幅調整床板に加工してください。

ポイント

●幅調整床板および柱周りのデッキ材の加工寸法はあくまでも目安です、W・Lの実際の寸法を実測して正確に加工してください。

(3) デッキの張付け

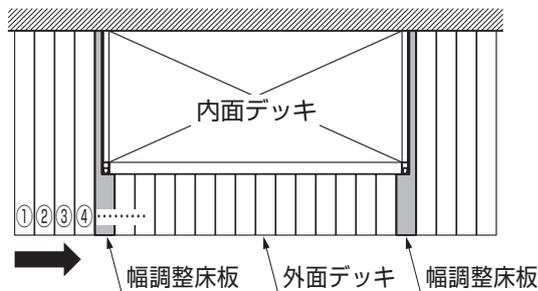


図2-11

表2-3 デッキ取付けネジ使い分け表

	固定箇所：根太(※1)	固定箇所：デッキ受け材(※2)
イペセレクト	【17-1】φ4.8×65 フレキコースレッド	【27-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ
ウエスタン・レッドシダー	【14-1】、【15-1】 ステンレスクリュー釘L=75	【27-1】φ4.2×50 フレキドリルネジ

ポイント

- デッキを配置する際は端部から配置してください。(図2-11参照)
- イペセレクトの場合はデッキにφ6の下穴をあけてください。

①外面デッキをデッキ受け材に【27-1】、根太に【14-1】、【15-1】、【17-1】で取付けてください。(図2-13参照)

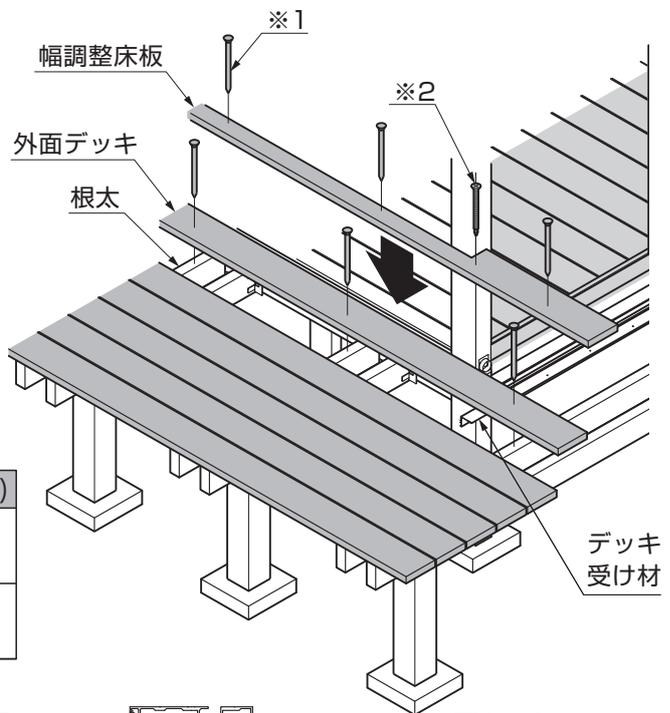


図2-12

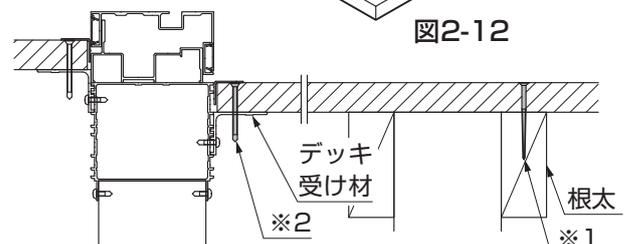


図2-13

3. 見切り材の取付け

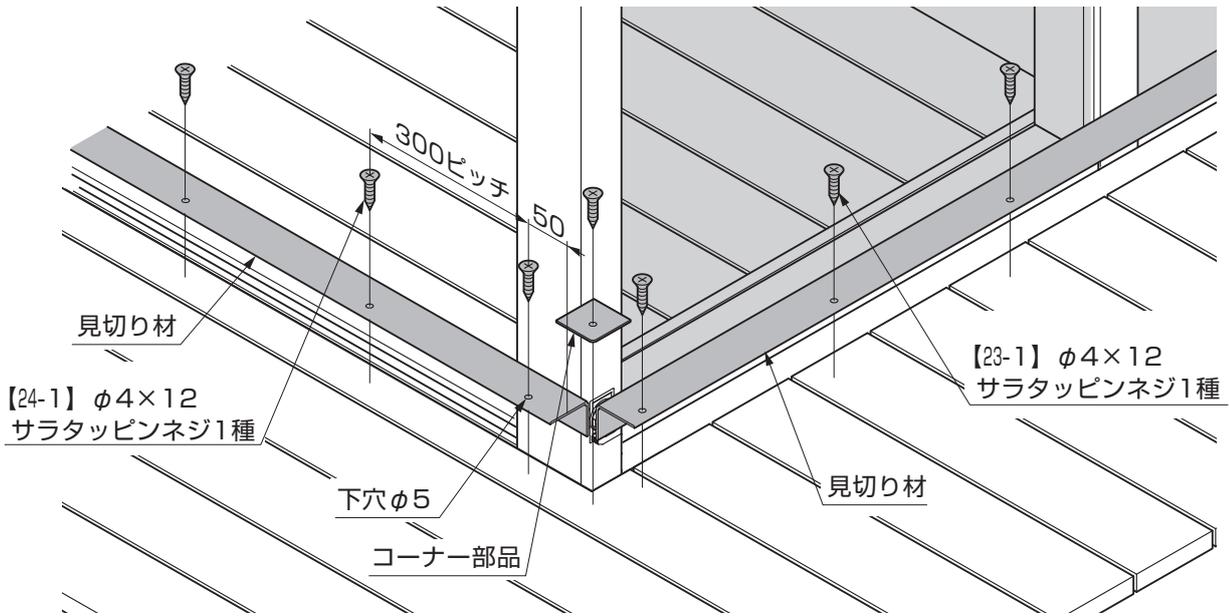


図3-1

- ①見切り材を固定する位置にφ5の下穴をあけてください。
- ②見切り材を外側デッキに【23-1】、【24-1】で取付けてください。

ポイント

- 見切り材を固定する位置に下穴加工をする際、幅調整床板を固定しているネジ位置を避けるよう、確認してから下穴加工をしてください。
- イペセレクトの場合は、床板にφ3の下穴をあけてください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

4. 幕板の取付け

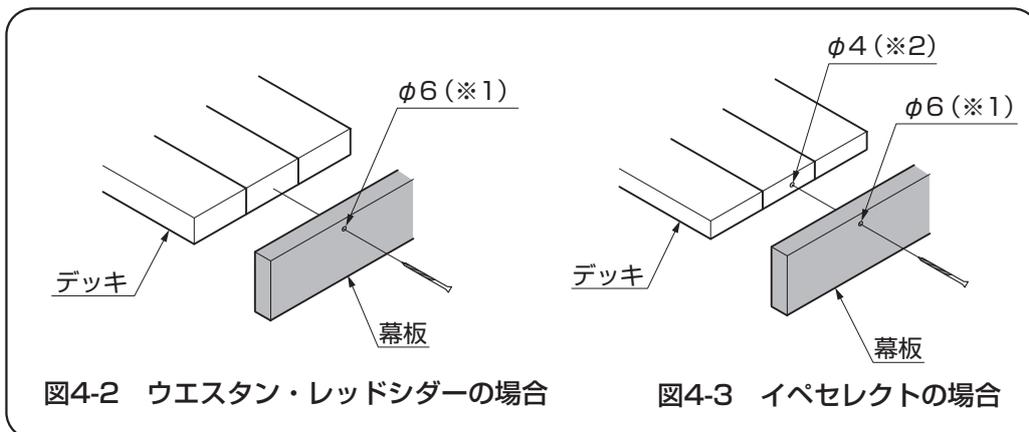


図4-2 ウェスタン・レッドシダーの場合

図4-3 イペセレクトの場合

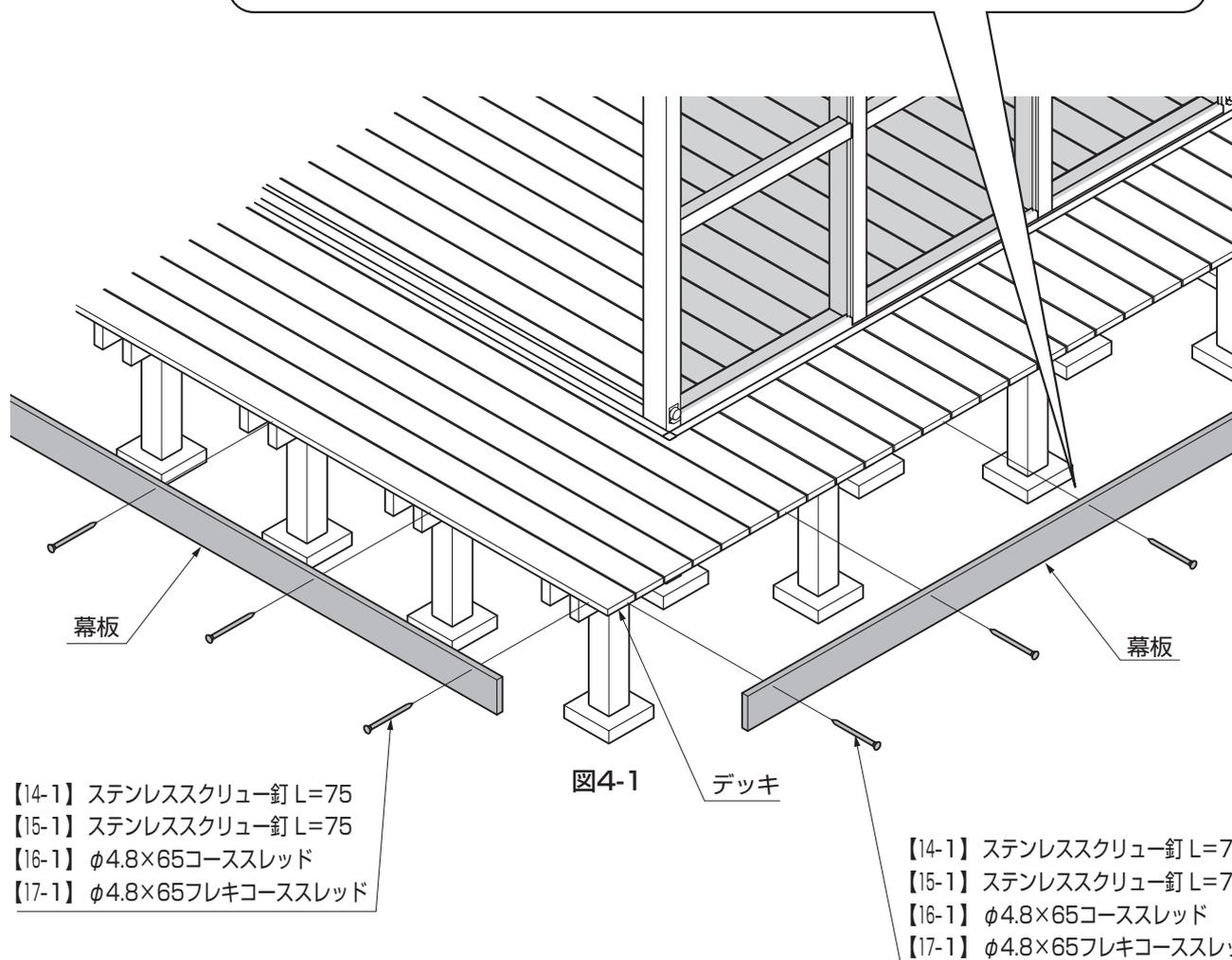


図4-1

- 【14-1】 ステンレススクリュー釘 L=75
- 【15-1】 ステンレススクリュー釘 L=75
- 【16-1】 φ4.8×65コーススレッド
- 【17-1】 φ4.8×65フレキコーススレッド

- 【14-1】 ステンレススクリュー釘 L=75
- 【15-1】 ステンレススクリュー釘 L=75
- 【16-1】 φ4.8×65コーススレッド
- 【17-1】 φ4.8×65フレキコーススレッド

①幕板をデッキに【14-1】、【15-1】、【16-1】、【17-1】で取付けてください。

ポイント

- 幕板に、φ6の下穴(※1)をあけてください。
- 前面の幕板は、デッキのラインをそろえてから前面幕板を止めてください。
- イペセレクト材にイペセレクト用デッキネジを打ち込む場合は、φ4の下穴(※2)を開けてください。
- デッキ、幕板をよりきれいに仕上げる場合は、下穴に加え皿取りをしてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取説コード

E220

YBQ610996F
200603A_1039
201210G_1039